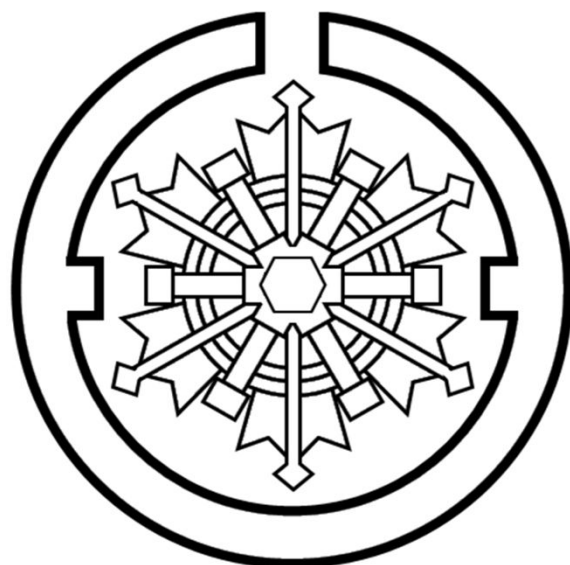


消防年報

令和3年版



白杵市消防本部

《 令和4年10月刊行 》

ま え が き

この年報は、本市消防の現況及び消防業務に関する諸般の事項を収録し、将来の参考に資するとともに、消防事情を紹介するため編集したものであります。

なお、内容は予算に関係ある事項については会計年度とし、それ以外のものについては、当該表にそれぞれ記載した年月日現在をもって表しています。

臼杵市消防本部

目 次

I. 管内情勢	1
1. 管内情勢	2
(1) 臼杵市の位置及び地勢	3
(2) 消防本部・消防署・分署・消防団の名称、位置及び管轄地域	4
(3) 管轄面積、人口及び世帯数	4
(4) 臼杵市消防本部・消防署・野津分署	5
(5) 消防の沿革	6
(6) 歴代管理者（市長）	9
(7) 歴代消防長	9
(8) 歴代消防署長	9
II. 総務編	10
1. 総務	11
(1) 消防組織機構図	12
(2) 事務分掌	13
(3) 職員の配置状況	15
(4) 職員の年齢構成	16
(5) 職員の勤務年数	16
(6) 職員の各種資格等取得状況	17
(7) 職員の研修状況	18
(8) 消防予算	19
III. 予防編	20
1. 予防・危険物	21
(1) 防火対象物数及び査察回数	22
(2) 防火管理者選任届状況	23
(3) 建築同意件数	24
(4) 各種届出事務処理状況	25
(5) 危険物施設の状況	26
(6) 施設の許可、届出等の状況	26
(7) 数量別危険物製造所等数	27
(8) 外郭団体の結成状況	28
(9) 幼年消防クラブ、婦人防火クラブの結成状況	28
(10) 自主防災会組織結成状況	28
2. 火災	29
(1) 火災発生状況	30
(2) 火災損害額、焼損面積	30
(3) 火災発生原因	31
(4) 月別火災発生件数	32
(5) 時刻別火災発生件数	32

IV. 警防編	33
1. 救急	34
(1) 救急出場状況等総括表	35
(2) 救急出場状況等の事故種別一覧表	35
(3) 過去5年間の救急発生状況	35
(4) 月別、時間別出場件数	36
(5) 月別、時間別搬送人員	37
(6) 曜日別出場件数及び搬送人員	38
(7) 年齢別、傷病程度別搬送人員	38
(8) 現場到着所要時間別出動件数	39
(9) 収容所要時間別搬送人員	39
(10) 医療機関別搬送人員	39
(11) 発生場所別搬送人員	40
(12) 救急隊員の行った応急処置件数	40
2. 救助	41
(1) 救急出場状況等総括表	42
(2) 発生場所別出動件数	42
3. 施設	43
(1) 消防本部車両の配備状況	44
(2) 消防資機材の配備状況	45
(3) 消防水利の現有状況	46
4. 通信指令	47
(1) 119番受信件数	48
(2) 無線関係	48
(3) 指令システム主要設備	49
(4) 指令センター・無線設備系統図	50
(5) 気象	51
V. 消防団編	52
1. 消防団	53
(1) 歴代消防団長	54
(2) 消防団組織機構図	55
(3) 消防団員実員数	56
(4) 消防団員年齢・階級別数	56
(5) 消防団員在職年数	57
(6) 消防団車両の配置状況	58
(7) 消防団小型動力ポンプの配置状況	59
VI. その他	60
1. その他	61
(1) 旧臼杵市消防の沿革	62
(2) 旧野津町消防の沿革	67

I. 管内情勢

1. 管内情勢

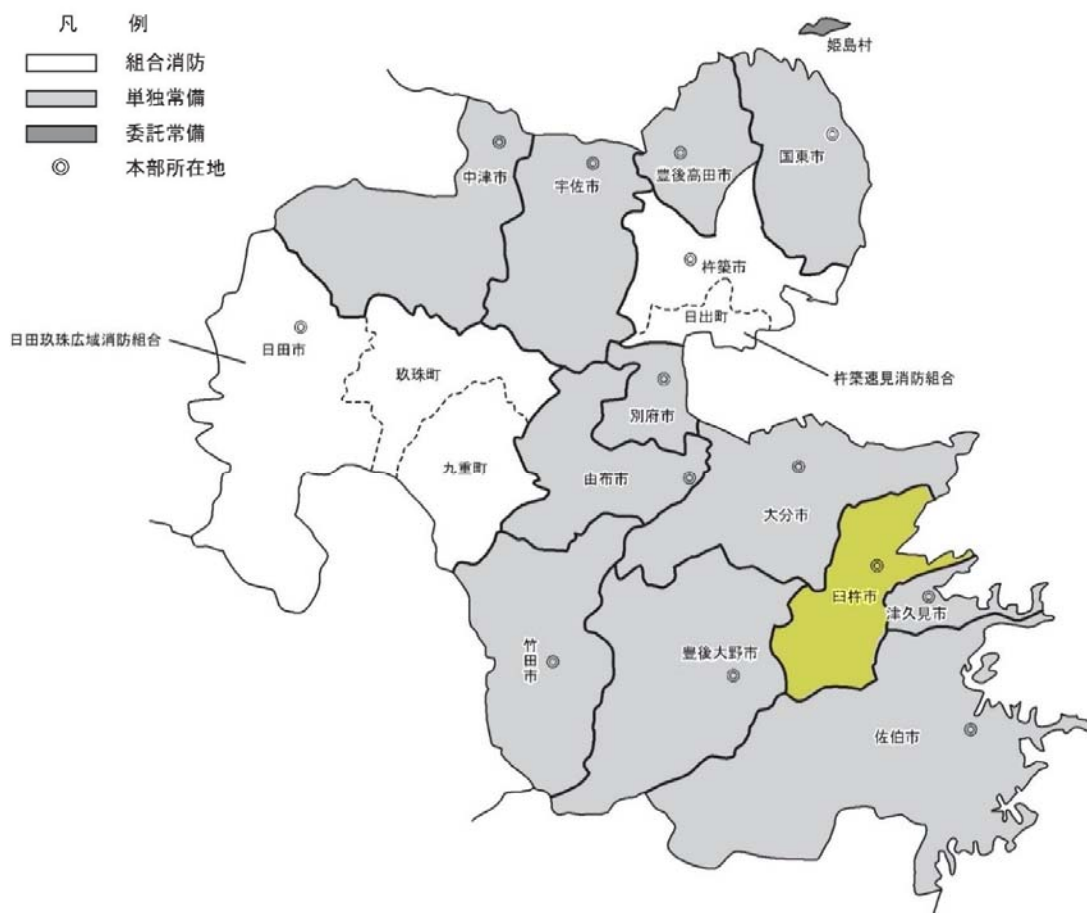
(1) 臼杵市の位置及び地勢

臼杵市は九州の東岸に位置し、大分県の東南部にあつて三方を山に囲まれ、一方は豊後水道に面し遠く四国、愛媛県の連山を望むことができます。更に、海岸線はリアス式特有の複雑な汀線を持ち山紫水明、風光明媚な郷土であります。

当市は津久見市に境する鎮南山を南に仰ぎ、北方に九六位山系などによって大分市に連なつており、西は豊後大野市、南は佐伯市に接しています。

なお、市街地は臼杵川流域に広がり、海岸沿岸部の狭小な平坦地には漁村部が点在しています。また、野津町地区は瀬戸内型と南海型の気候が混在し、温暖で雨量にも恵まれ野菜や葉たばこなどの農業が盛んであります。また、国宝の臼杵石仏をはじめ風連鍾乳洞などの観光資源も多く、吉四六まつりや竹宵まつりなどの郷土色豊かな催しにより地域の活性化が図られるとともに、古きよき時代の面影が脈々と生き続ける故郷です。

その管轄面積は291.07km²、総人口は令和2年度の国勢調査によると36,158人となっています。



(2) 消防本部・消防署・分署・消防団の名称、位置及び管轄地域

区分	名 称	住 所	管 轄 区 域
本部	臼杵市消防本部	臼杵市大字前田1851番4	臼杵市及び同地先海域全域
署	臼杵市消防署	同上	同上
分署	野津分署	臼杵市野津町大字宮原4267番1	旧野津町全域
消防団	臼杵市消防団	臼杵市大字前田1851番4	旧臼杵市全域 旧野津町全域
	臼杵方面隊		
	野津方面隊		

(3) 管轄面積、人口及び世帯数

位置

区 分	東 経	北 緯
臼 杵 市 消 防 署	131度46分50秒	33度07分04秒
野 津 分 署	131度41分17秒	33度03分04秒

面積

臼杵地域	野津地域	計
151.88 km ²	139.19 km ²	291.07 km ²

人口及び世帯数

	人 口			世 帯 数
	男	女	計	
全 市	17,453	19,155	36,608	16,922
臼杵地域	14,135	15,514	29,649	13,763
野津地域	3,318	3,641	6,959	3,159

※ 人口及び世帯数は、令和4年4月1日現在の住民登録基本台帳による。

(4) 臼杵市消防本部・消防署・野津分署



国宝に指定されている臼杵石仏



大分県



臼杵市消防本部・消防署

位置：臼杵市大字前田1851番4

敷地面積：11,009㎡

建築面積：1,189.78㎡

平成25年2月28日竣工



野津分署

位置：臼杵市野津町大字宮原4267番1

敷地面積：6,060.23㎡

建築面積：589.7㎡

平成19年2月20日竣工

(5) 消防の沿革

- 平成 17 年 1 月 平成 17 年 1 月 1 日、旧臼杵市と旧野津町が合併し新臼杵市となる
(2005 年) 常備消防は大野郡東部消防本部に事務委託
非常備消防は臼杵市連合消防団（臼杵消防団 500 名、野津消防団 300 名）体制
- 平成 18 年 1 月 消防ポンプ自動車購入（野津分署配備予定車両）
(2006 年) 2 月 高規格救急自動車購入（野津分署配備予定車両）
3 月 野津分署建設用地購入 7,744 ㎡
3 月 緊急通信指令システム I 型整備
5 月 救急救命士試験に 1 名合格
6 月 野津分署庁舎竣工 総事業費 204,892,250 円（土地取得費含む）
（工期 18.6.1～19.2.20：建築面積 589.7 ㎡、延床面積 688.2 ㎡）
- 平成 19 年 2 月 野津分署竣工
(2007 年) 3 月 豊後大野市との消防及び救急業務委託解消
4 月 野津分署の業務開始 分署長以下 18 名体制
消防ポンプ自動車、高規格救急自動車、小型運搬車、旧野津救急自動車(2B 型)、
旧野津消防団広報車を配備
4 月 豊後大野市（消防本部）から職員 8 名の移管（内 2 名が救急救命士）
- 平成 20 年 1 月 臼杵消防団、野津消防団合同の出初式を、初めて諏訪山グラウンドで挙行
(2008 年) 1 月 「救急・大規模災害医療セミナー」の開催（臼杵市中央公民館）
1 月 臼杵市総合訓練を初めて実施（開催場所：臼杵市総合公園）
- 平成 21 年 2 月 臼杵市総合訓練を実施（開催場所：J R 臼杵駅）
(2009 年)
- 平成 22 年 2 月 臼杵市総合訓練を実施（開催場所：吉四六ランド）
(2010 年) 3 月 消防ポンプ自動車更新整備（本署配備）
4 月 救急救命士有資格者を 1 名採用
4 月 職員条例定数を 65 人から 68 人とする（平成 24 年 3 月 31 日までの期間限定）
5 月 救急救命士試験に 1 名合格
10 月 初めての前倒し採用を 10 月 1 日に実施、新職員 2 名採用（職員実員 67 名）
- 平成 23 年 2 月 臼杵市総合訓練を実施（開催場所：臼杵造船所）
(2011 年) 3 月 水害パトロール車更新整備（本署配備）
3 月 広報車更新整備（本署配備）
3 月 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震に、緊急消防援助隊（消防隊 1 隊 5 名）を大分
県隊として派遣（活動場所：岩手県釜石市鶏住居町）(3.14～3.22)
3 月 新消防庁舎の建設用地造成工事着手
9 月 新消防庁舎の建設工事着手
- 平成 24 年 2 月 臼杵市総合訓練を実施（開催場所：臼杵市役所）
(2012 年) 4 月 市役所との人事交流（1 名出向（コミュニティ防災課）、市から 1 名派遣）
4 月 救急救命士有資格者を 1 名採用
4 月 初めての女性職員を 1 名採用
12 月 新消防庁舎竣工 総事業費 1,120,000,000 円（土地取得費含む）
（工期 23.9.30～24.12.20：建築面積：1,189.78 ㎡、延床面積 2,972.46 ㎡）
- 平成 25 年 2 月 新消防庁舎での業務開始（所在地：臼杵市大字前田 1851 番 4）
(2013 年) 2 月 臼杵市総合訓練を実施（開催場所：吉四六ランド）
3 月 高規格救急自動車更新整備（本署配備）
4 月 大分県防災航空隊に隊員 1 名を派遣（任期 28.3.31 まで）
5 月 救急救命士試験に 1 名合格

- 平成 26 年 3 月 臼杵市総合訓練を実施（開催場所：臼杵商業高校）
(2014 年) 3 月 化学車更新整備（本署配備）
3 月 太陽光発電設備新設（本署）
4 月 救急救命士試験に 1 名合格
4 月 救急救命士有資格者を 1 名採用
4 月 市役所との人事交流（計 2 名出向（防災危機管理室）、市から派遣計 2 名）
- 平成 27 年 2 月 消防救急デジタル無線運用開始
(2015 年) 2 月 連絡車新規整備（本署配備）
3 月 臼杵市集団災害訓練を実施（開催場所：ワンダーランド臼杵店）
3 月 消防ポンプ自動車更新整備（本署配備）
3 月 高規格救急自動車更新整備（本署配備）
9 月、2 月 広報車更新整備（本署、分署配備）
4 月 救急救命士試験に 1 名合格
- 平成 28 年 3 月 臼杵市集団災害訓練を実施（開催場所：小松製作所実用試験部）
(2016 年) 4 月 救急救命士試験に 1 名合格
4 月 無人航空機隊（ドローン隊）が発足
4 月 市役所との人事交流（計 1 名出向（防災危機管理室）、市から派遣計 1 名）
4 月 4 月 14 日に発生した熊本地震に、緊急消防援助隊（消火隊 1 隊 5 名、救急隊 1 隊 3 名：計 8 名）を大分県隊として派遣（活動場所：熊本県益城町）（4.14～4.16）
10 月 臼杵市集団災害訓練を実施（開催場所：あすとぴあ区）
- 平成 29 年 3 月 災害対応車両車庫新築（本署）
(2017 年) 3 月 高機能消防指令センター運用開始
4 月 救急救命士試験に 1 名合格
4 月 市役所との人事交流（計 1 名出向（防災危機管理室）、市から派遣計 1 名）
4 月 臼杵市消防団と野津消防団が統合し、臼杵市消防団となる。（条例定数 800 名）
- 平成 30 年 3 月 臼杵市集団災害訓練を実施（開催場所：フンドーキン醤油(株)ドレッシング工場）
(2018 年) 3 月 高規格救急自動車更新整備（分署配備）
4 月 救急救命士試験に 1 名合格
4 月 4 月 11 日に発生した中津市土砂災害に、常備消防相互応援協定に基づき、救助隊 1 隊 5 名（3 日間延べ 15 名）を派遣（活動場所：中津市耶馬溪町金吉）（4.14～4.17）
5 月 119 番多言語通訳サービスを開始（外部への業務委託）
7 月 6 月 28 日から 7 月 8 日かけて発生した豪雨災害に、緊急消防援助隊（消火隊 1 隊 5 名）を大分県隊として派遣（活動場所：広島県広島市）（7.28～7.31）
- 平成 31 年 1 月 小型運搬車更新整備（本署配備）
(2019 年) 2 月 高規格救急自動車更新整備（本署配備）
3 月 臼杵市集団災害訓練を実施（開催場所：臼杵市総合公園）
研修室に災害対策本部用映像システムを整備（市総務課防災危機管理室発注）
3 月 救急救命士試験に 1 名合格
4 月 再任用職員 1 名を初めて採用
令和元年 11 月 市総務課防災危機管理室が消防庁舎に移転
- 令和 2 年 1 月 臼杵市消防団に 3.5 t 未満の消防ポンプ自動車（CD-I 型）を初めて整備（臼杵方面隊
(2020 年) 第 4 分団配備）
3 月 救助工作車 II 型更新整備（本署配備）
救急救命士試験に 1 名合格
4 月 臼杵市消防団臼杵方面隊第 8 分団、第 9 分団の各部がそれぞれ統合し、第 8 分団が 4 ケ部から 3 ケ部に、第 9 分団が 3 ケ部から 2 ケ部となる。（条例定数は変更せず 800 名）
研修室にテレビ会議システムを整備（市防災危機管理課発注）

- 7月 7月3日から4日にかけて熊本県を中心に発生した豪雨災害に、緊急消防援助隊（消防隊1隊5名・延べ10名）を大分県隊として派遣（活動場所：熊本県芦北郡芦北町、八代市）（7.4～7.7）
- 11月 令和2年度総務省消防庁の緊急消防援助隊に係る無償配備事業により水上バイクを本署に配備。
- 令和3年2月 災害対応特殊消防ポンプ自動車（CD-I型）更新整備（分署配備）
- (2021年) 3月 救急救命士試験に1名合格
- 4月 臼杵市消防団の条例定数を800名から750名に削減。
臼杵市消防団臼杵方面隊第10分団の部が統合し、4ヶ部から3ヶ部となる。
- 令和4年1月 新型コロナウイルス感染症により2年連続中止となっていた、臼杵市消防団出初式を部長以上の参加に規模縮小し、臼杵市中央公民館で開催。
- (2022年) 3月 大分市と臼杵市との消防指令業務に係る事務の委託について、大分県知事へ届出を行う。これにより、令和6年4月1日から起算して1年を超えない範囲内において、臼杵市の消防指令業務に係る事務を大分市に委託することとなった。

(6) 歴代管理者 (市長)

令和4年4月1日現在

職名	氏名	在職期間	備考
市長	後藤 國利	自 平成17年1月1日 至 平成21年1月19日	
市長	中野 五郎	自 平成21年1月20日 至 現在に至る	

(7) 歴代消防長

令和4年4月1日現在

歴代	氏名	在職期間	備考
初代	田口 徹	自 平成17年1月1日 至 平成17年3月31日	
2代	井澤 義安	自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日	
3代	園田 寿	自 平成18年4月1日 至 平成20年3月31日	
4代	後藤 幸生	自 平成20年4月1日 至 平成23年3月31日	
5代	篠田 光敏	自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日	
6代	佐藤 秀樹	自 平成24年4月1日 至 平成26年3月31日	
7代	佐藤 英敏	自 平成26年4月1日 至 平成28年3月31日	
8代	秋田 直己	自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日	
9代	板井 幸則	自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日	
10代	藤丸 幸彦	自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日	
11代	三原 徹	自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日	
12代	平川 幸司	自 令和2年4月1日 至 令和3年12月31日	
13代	亀井 英樹	自 令和4年1月1日 至 現在に至る	

(8) 歴代消防署長

令和4年4月1日現在

歴代	氏名	在職期間	備考
初代	園田 寿	自 平成17年1月1日 至 平成18年3月31日	
2代	中野 敏夫	自 平成18年4月1日 至 平成20年3月31日	
3代	山本 伸二	自 平成20年4月1日 至 平成23年3月31日	
4代	長野 和幸	自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日	
5代	秋田 直己	自 平成24年4月1日 至 平成28年3月31日	
6代	板井 幸則	自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日	
7代	藤丸 幸彦	自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日	
8代	三原 徹	自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日	
9代	村川 功	自 平成31年4月1日 至 現在に至る	

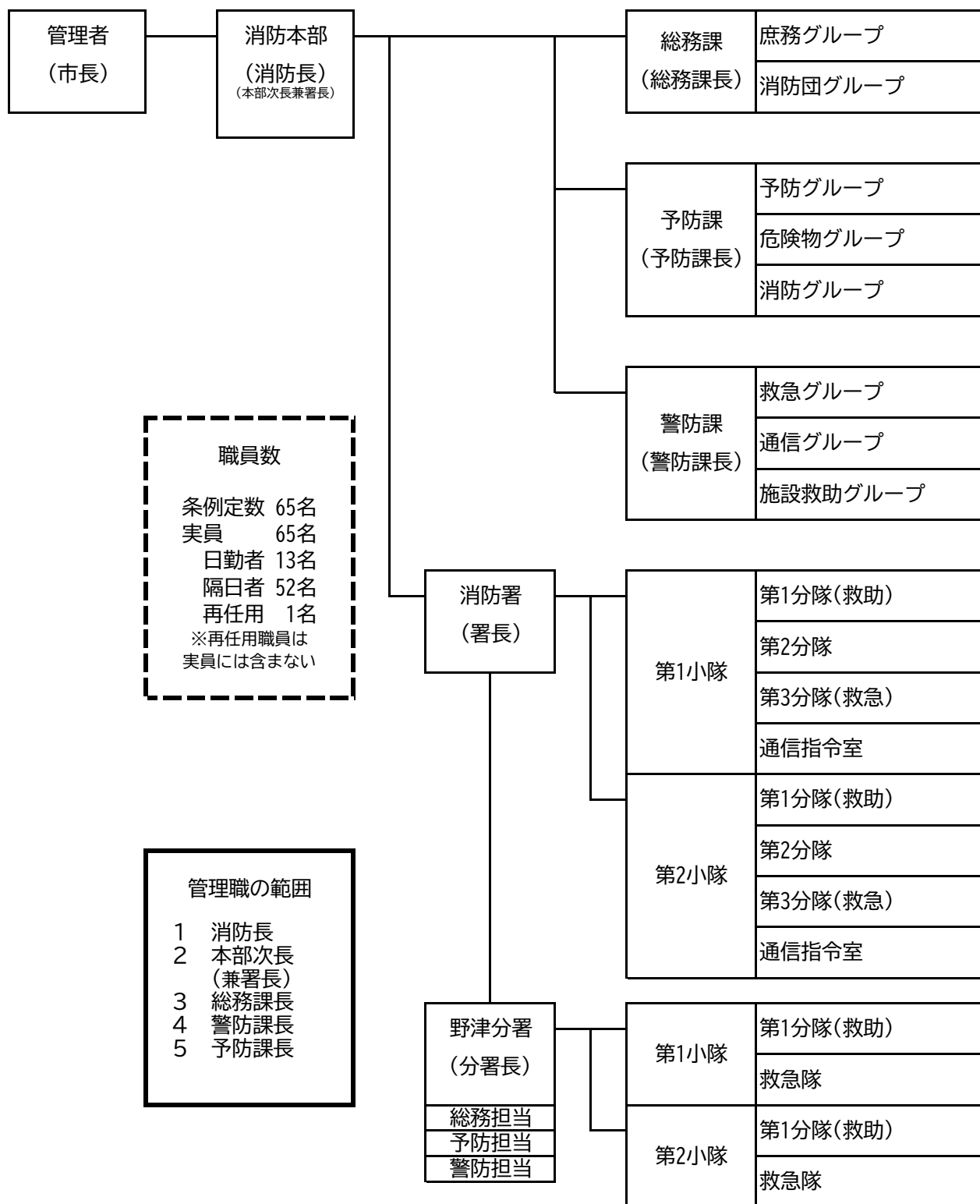
A decorative graphic consisting of seven thick, horizontal black bars stacked vertically, framing the central text.

Ⅱ. 総務編

1. 総務

(1) 消防組織機構図

令和4年4月1日現在



(2) 事務分掌

令和4年4月1日現在

総務課

グループ名	分掌事務
庶務 グループ	(1)消防本部の組織及び消防職員の人事に関する事。
	(2)消防予算の編成及び会計事務に関する事。
	(3)消防職員の教養、サービス及び規律に関する事。
	(4)消防統計及び消防情報に関する事。
	(5)消防用施設の強化拡充に関する事。
	(6)消防財産及び庁舎の管理に関する事。
	(7)消防職員の福利厚生及び保健衛生に関する事。
	(8)消防職員の公務災害に関する事。
	(9)給与品及び貸与品に関する事。
	(10)公印の管理に関する事。
	(11)消防職員の表彰事務に関する事。
	(12)渉外及び広報に関する事。
	(13)その他の課に属さない事。
消防団 グループ	(1)消防団員の任免及び懲罰に関する事。
	(2)消防団員等の公務災害補償に関する事。
	(3)消防団員の教養及び訓練に関する事。
	(4)消防団員の退職報償金に関する事。
	(5)消防団員の福利厚生及び保健衛生に関する事。
	(6)消防団員の表彰事務に関する事。
	(7)その他消防団に関する事。

予防課

グループ名	分掌事務
予防 グループ	(1)火災予防の企画及び広報に関する事。
	(2)防火対象物の立入検査及び指導に関する事。
	(3)消防用設備等の設置指導及び検査に関する事。
	(4)防火管理等に関する事。
	(5)建築許可等について消防長の同意に関する事。
	(6)火災予防措置及び防火相談に関する事。
	(7)ガス事業法及び液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律に関する事。
	(8)防火対象物の公示及び表示制度に関する事。
	(9)住宅防火に関する事。
	(10)少年婦人防火委員会に関する事。
	(11)その他予防事務に関する調査及び報告に関する事。
危険物 グループ	(1)危険物の規制に関する事。
	(2)危険物製造所等の許認可、検査及び取扱い等の指導に関する事。
	(3)危険物施設の立入検査及び保安指導に関する事。
	(4)少量危険物等の貯蔵取扱い、安全指導に関する事。
	(5)危険物災害の調査及び研究に関する事。
	(6)危険物安全協会に関する事。
	(7)火薬類取締法に関する事。
消防 グループ	(1)水火災等の警戒防御の計画に関する事。
	(2)消防計画に関する事。
	(3)開発行為の同意事務に関する事。
	(4)火災の原因調査及び損害の調査に関する事。
	(5)り災及び出動証明に関する事。
	(6)民間防火組織及び自主防災組織の育成指導に関する事。
	(7)その他消防業務の調査報告に関する事。

警防課

グループ名	分掌事務
救急グループ	(1)救急救命士の指導及び育成に関する事。
	(2)救急用設備の維持管理に関する事。
	(3)救急出動証明に関する事。
	(4)救急隊員の教養に関する事。
	(5)救急の指導に関する事。
	(6)その他救急業務の調査報告に関する事。
通信グループ	(1)消防通信に関する事。
	(2)通信施設の整備及び保安全管理に関する事。
	(3)通信施設の取扱い及び技術指導に関する事。
	(4)災害出動指令に関する事。
	(5)その他消防通信に関する事。
施設救助グループ	(1)消防施設の設置及び維持管理に関する事。
	(2)消防地水利に関する事。
	(3)救助業務の調査報告に関する事。
	(4)消防相互応援協定に関する事。
	(5)高速自動車道に関する事。
	(6)緊急消防援助隊に関する事。
	(7)国民保護法に関する事。
	(8)消防機械器具及び燃料に関する事。
	(9)消防自動車の登録及び検査等に関する事。
	(10)その他警防業務の調査報告に関する事。

消防署・分署

所属名	分掌事務
臼杵市消防署 野津分署	(1)公印の保管及び文書の收受に関する事。
	(2)署員の勤務配置に関する事。
	(3)署員の各種教養訓練及び福利厚生に関する事。
	(4)火災予防等のための措置に関する事。
	(5)水火災等の警戒防御に関する事。
	(6)救助業務及び救急業務に関する事。
	(7)救急隊員の研修及び教育訓練に関する事。
	(8)救急救命講習の指導に関する事。
	(9)各種資機材及び物品の管理に関する事。
	(10)消防地理及び水利の調査に関する事。
	(11)水火災等の原因及び損害調査に関する事。
	(12)避難訓練及び消火実験等の指導に関する事。
	(13)民間防火組織及び自主防災組織の訓練指導に関する事。
	(14)火災予防広報活動に関する事。
	(15)消防用無線の運用に関する事。
	(16)消防用車両及び機械器具等の整備及び管理に関する事。
	(17)防火対象物及び危険物施設の警防査察及び指導に関する事。
	(18)受付及び通信に関する事。
	(19)火災、救急救助及びその他災害の通報の受理並びに出動体制に関する事。
	(20)消防通信施設の維持管理に関する事。
	(21)災害情報の収集及び伝達に関する事。
	(22)気象観測及び記録に関する事。
	(23)消防団員の各種訓練指導に関する事。
	(24)前各号に掲げるもののほか、消防署の全般に関する事。

(3) 職員の配置状況

令和4年4月1日現在

区分	階級	消 防 吏 員							
		合計	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	
条 例 定 員		65							
実 員		65	1	4	18	24	6	12	
構 成 比 率		100%	1.5%	6.2%	27.7%	36.9%	9.2%	18.5%	
消防本部	消防長		1	1					
	本部次長		1		1				
	総務課	課長	1		1				
		庶務グループ	7			1	(4)	(2)	
		消防団グループ	6			1(1)	(1)	(1)	(2)
	予防課	課長	1		1				
		予防グループ	6			1(1)	(2)	(1)	(1)
		危険物グループ	5			1(1)	(2)	(1)	
		消防グループ	8			(2)	(3)	1	(2)
	警防課	課長	1		1				
		救急グループ	7			1	(4)		(2)
		通信グループ	3			1	(2)		
		施設救助グループ	5			(2)	(2)	(1)	
	消防署・分署	臼杵市消防署	署長	1		1			
第1小隊			20			4	10	3	3
第2小隊			20			4	9	2	5
野津分署		分署長	1			1			
		第1小隊	6			2	2		2
		第2小隊	6			1	3	1	1

※本部次長は臼杵市消防署長を兼務。

※消防本部の（）内は、臼杵市消防署員（当直勤務者）の兼務数。

※再任用職員（1名）は含まない。

(4) 職員の年齢構成

令和4年4月1日現在

区分	階級	消 防 吏 員							
		合計	構成比率	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士
計		65		1	4	18	24	6	12
55才以上		3	4.6%	1	2				
50才以上	55才未満	3	4.6%		2	1			
45才以上	50才未満	8	12.3%			8			
40才以上	45才未満	9	13.8%			9			
35才以上	40才未満	18	27.7%				18		
30才以上	35才未満	6	9.2%				6		
25才以上	30才未満	7	10.8%					6	1
20才以上	25才未満	11	16.9%						11
	20才未満	0	0.0%						

(5) 職員の勤続年数

令和4年4月1日現在

区分	階級	消 防 吏 員							
		合計	構成比率	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士
計		65		1	4	18	24	6	12
35年以上		2	3.1%		2				
30年以上	35年未満	5	7.7%	1	2	2			
25年以上	30年未満	7	10.8%			7			
20年以上	25年未満	4	6.2%			3	1		
15年以上	20年未満	18	27.7%			5	13		
10年以上	15年未満	12	18.5%			1	10	1	
5年以上	10年未満	8	12.3%					5	3
	5年未満	9	13.8%						9

(6) 職員の各種資格等取得状況

令和4年4月1日現在

種別		階級	合計	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士
実員			65	1	4	18	24	6	12
自動車運転免許	大型二種		1		1				
	大型一種		49	1	2	18	22	3	3
	中型		27			4	16	5	2
	中型(8t限定)		26	1	4	14	7		
	準中型		16				1	5	10
	準中型(5t限定)		5				3	1	1
	自動二輪		21	1	4	7	6	2	1
船舶操縦士	1級		4			1	2	1	
	2級		10		1	7		1	1
	小型特殊		2				2		
無線従事者	特殊無線技師(二級)陸上		62	1	2	18	24	6	11
	アマチュア無線技士		6	1		2	3		
救急	救急救命士		27		2	10	10	1	4
	(うち指導救急救命士)		3		1	2			
	(うち気管挿管)		27		2	10	10	1	4
	(うち薬剤投与)		26		2	9	10	1	4
	(うち処置拡大2項目)		23		1	7	10	1	4
	標準課程(救急科)		40			6	23	5	6
	救急Ⅱ課程		9	1	2	6			
救急Ⅰ課程		9	1	2	6				
危険物取扱者	乙種二類		3	1		1	1		
	乙種三類		4	1		2	1		
	乙種四類		12	1		3	6	1	1
	乙種五類		5	1		2	2		
	乙種六類		5	1	1	2	1		
	丙種		1		1				
巻上機運転免許			35		3	15	15	2	
玉掛技能免許			36		3	15	16	2	
小型移動式クレーン運転技能			35		3	15	15	2	
移動式クレーン免許			1		1				
フォークリフト運転技術士			3			2	1		
潜水士免許			43		2	16	19	5	1
ガス溶接技士			2			1	1		
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者			14		1	12	1		
電気工事士			3		1	1	1		
特定化学物質等作業主任者技能			3		1	2			
車両系建設機械			1		1				

(7) 職員の研修状況

消防学校

令和3年度中

教育訓練の種類		実施期間	日数	人員	実施場所
初 任 教 育		R3. 4. 5 ~ R3. 9.24	173	1	大分県消防学校
専科教育	警 防 科	R3.10. 7 ~ R3.10.20	14	2	//
	特 殊 災 害 科	R3.10.25 ~ R3.10.29	5	2	//
	火 災 調 査 科	R4. 1.12 ~ R4. 1.21	10	2	//
幹部教育	初 級 幹 部 科	R3.11. 8 ~ R3.11.19	12	1	//
特別教育	特 殊 技 能 講 習	R3.12. 7 ~ R3.12.16	10	2	//
	消防操法指導者研修	R3. 4.20 ~ R3. 4.22	3	2	//
	応急手当指導員講習 I	R4. 3.24 ~ R4. 3.25	2	4	//
	救急救命士再教育研修	R3.10. 4 ~ R3.10. 5 R3.12.21 ~ R3.12.22	2	2	//
	実火災体験研修	R3.11. 2	1	2	//

その他

令和3年度中

教育訓練等の種類		実施期間	日数	人員	実施場所
救 急 救 命 士 研 修 課 程		R3. 9. 3 ~ R4. 3.14	193	1	救急救命九州研修所

(8) 消防予算

消防予算の概要

(単位：千円)

科目		年度			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
消 防 費	常備消防費	514,622	523,106	535,336	548,452
	非常備消防費	70,395	73,114	67,931	66,962
	消防施設費	193,266	139,316	98,445	113,017
	水防費	60	60	60	60
	災害対策費	218,667	121,806	85,032	272,061
合計		997,010	857,402	786,804	1,000,552

(当初予算額)

消防予算と市一般会計予算

(単位：千円)

科目		年度			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
市一般会計予算		21,852,242	21,890,626	20,838,062	22,772,985
消防予算		997,010	857,402	786,804	1,000,552
比率 (%)		4.6	3.9	3.8	4.4

(当初予算額)

人口・世帯当たりの予算

(単位：円)


区分		年度			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
人口一人当たりの消防予算		25,837	22,518	21,066	27,332
一世帯当たりの消防予算		58,074	49,832	46,082	59,127

(当初予算額)

付記（積算根拠）

	人口	世帯数
令和元年度	38,589人	17,168世帯
令和2年度	38,077人	17,206世帯
令和3年度	37,350人	17,074世帯
令和4年度	36,608人	16,922世帯

(住民基本台帳)

The page features a decorative header consisting of six thick, horizontal black bars. The text 'III. 預防編' is centered within these bars.

III. 預防編

1. 予防・危険物

(1) 防火対象物数及び査察回数

令和3年度中

防 火 対 象 物		対象物数	査察回数	
1項	イ	劇場・映画館・観覧場	2	0
	ロ	公会堂又は集会場	54	1
2項	イ	キャバレー・カフェ・ナイトクラブ	0	0
	ロ	遊技場又はダンスホール	5	0
	ハ	風俗店等	0	0
	ニ	カラオケボックス他	1	0
3項	イ	待合・料理店	12	1
	ロ	飲食店	36	6
4項		百貨店・店舗・マーケット	60	5
5項	イ	旅館・ホテル・宿泊所	27	3
	ロ	寄宿舍・下宿・共同住宅	227	18
6項	イ	病院・診療所・助産所	28	0
	ロ	老人短期入所施設等	31	1
	ハ	老人デイサービスセンター等	47	0
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	4	0
7項		小学校・中学校・高等学校・大学校各種学校	65	0
8項		図書館・博物館・美術館等	6	0
9項	イ	蒸気浴場・熱気浴場等	0	0
	ロ	一般の公衆浴場	0	0
10項		車両の停車場・船舶・航空機の発着場	3	0
11項		神社・寺院・教会等	40	0
12項	イ	工場・作業場	294	16
	ロ	スタジオ	1	0
13項	イ	自動車車庫・駐車場	25	0
	ロ	航空機格納庫	0	0
14項		倉庫	113	4
15項		前各号に該当しない事業所	197	7
16項	イ	複合用途防火対象物（特定用部分を含む）	113	5
	ロ	複合用途防火対象物（特定用部分を含まないもの）	50	1
16項の2		地下街	0	0
16項の3		建築物の地階で、連続して地下道に面して店舗等が設けられているもの	0	0
17項		重要文化財建造物	6	0
18項		アーケード（延長 \geq 50mのもの）	0	0
19項		市町村長の指定する山林	0	0
20項		自治省令で定める舟車	0	0
合 計			1,447	68

(2) 防火管理者選任届状況

令和3年度中

防 火 対 象 物		対象物数	選任数	
1項	イ	劇場・映画館・観覧場	1	1
	ロ	公会堂又は集会場	57	32
2項	イ	キャバレー・カフェ・ナイトクラブ	1	1
	ロ	遊技場又はダンスホール	4	3
	ハ	風俗店等	0	0
	ニ	カラオケボックス他	1	1
3項	イ	待合・料理店	11	8
	ロ	飲食店	36	22
4項		百貨店・店舗・マーケット	46	31
5項	イ	旅館・ホテル・宿泊所	13	12
	ロ	寄宿舍・下宿・共同住宅	53	33
6項	イ	病院・診療所・助産所	10	9
	ロ	老人短期入所施設等	27	26
	ハ	老人デイサービスセンター等	25	23
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	2	2
7項		小学校・中学校・高等学校・大学校各種学校	22	20
8項		図書館・博物館・美術館等	4	4
9項	イ	蒸気浴場・熱気浴場等	0	0
	ロ	一般の公衆浴場	0	0
10項		車両の停車場・船舶・航空機の発着場	0	0
11項		神社・寺院・教会等	20	13
12項	イ	工場・作業場	21	16
	ロ	スタジオ	0	0
13項	イ	自動車車庫・駐車場	0	0
	ロ	航空機格納庫	0	0
14項		倉庫	0	0
15項		前各号に該当しない事業所	26	23
16項	イ	複合用途防火対象物（特定用部分を含む）	55	29
	ロ	複合用途防火対象物（特定用部分を含まないもの）	6	5
16項の2		地下街	0	0
16項の3		建築物の地階で、連続して地下道に面して店舗等が設けられているもの	0	0
17項		重要文化財建造物	2	2
18項		アーケード（延長 \geq 50mのもの）	0	0
19項		市町村長の指定する山林	0	0
20項		自治省令で定める舟車	0	0
合 計			443	316

(3) 建築同意件数

令和3年度中

防 火 対 象 物		新築	増築	改築	用途変更	模様替	その他	計	
1項	イ	劇場・映画館・観覧場						0	
	ロ	公会堂又は集会場						0	
2項	イ	キャバレー・カフェ・ナイトクラブ						0	
	ロ	遊技場又はダンスホール						0	
	ハ	風俗店等						0	
	ニ	カラオケボックス他						0	
3項	イ	待合・料理店						0	
	ロ	飲食店	1					1	
4項		百貨店・店舗・マーケット	3					3	
5項	イ	旅館・ホテル・宿泊所						0	
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	1					1	
6項	イ	病院・診療所・助産所						0	
	ロ	老人短期入所施設等	1					1	
	ハ	老人デイサービスセンター等						0	
	ニ	幼稚園又は特別支援学校						0	
7項		小学校・中学校・高等学校・大学校各種学校						0	
8項		図書館・博物館・美術館等						0	
9項	イ	蒸気浴場・熱気浴場等						0	
	ロ	一般の公衆浴場						0	
10項		車両の停車場・船舶・航空機の発着場	1					1	
11項		神社・寺院・教会等		1				1	
12項	イ	工場・作業場	2					2	
	ロ	スタジオ						0	
13項	イ	自動車車庫・駐車場	2				2	4	
	ロ	航空機格納庫						0	
14項		倉庫	2					2	
15項		前各号に該当しない事業所	6					6	
16項	イ	複合用途防火対象物（特定用部分を含む）			2		4	6	
	ロ	複合用途防火対象物（特定用部分を含まないもの）						0	
16項の2		地下街						0	
16項の3		建築物の地階で、連続して地下道に面して店舗等が設けられているもの						0	
17項		重要文化財建造物						0	
		住宅 ・ その他	2					2	
		合 計	21	1	0	2	0	6	30

(4) 各種届出事務処理状況

令和3年度中

種	別	件数
防火管理	防火管理者選解任届出	75
	消防計画書の届出	93
消防用設備等	消防用設備等着工届出	18
	消防用設備等設置届出	57
	消防用設備等点検結果報告	541
防火対象物の使用開始届出		12
火を使用する設備の設置の届出	ボイラー・乾燥設備・温風設備	5
	変電設備	6
	発電設備	8
	蓄電池設備	7
	炉・かまど	0
	サウナ設備	0
	ネオン管灯設備	0
火災とまぎらわしい煙等を発する おそれのある行為等の届出	火災とまぎらわしい煙または火炎を発する行為	236
	煙火届	13
	催物開催届	0
	消防隊の通行等に支障を及ぼすおそれのある道路工事	194
指定数量未満の危険物の届出		18
圧縮アセチレンガス等の 貯蔵取扱届出	圧縮アセチレンガス	7
	液化石油ガス	1
合 計		1,291

(5) 危険物施設の現況 (完成検査済証交付施設)

令和4年3月31日現在

区分	施設	合計	製造所	貯蔵所	貯蔵所						取扱所	取扱所			
					屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所		屋外貯蔵所	給油取扱所	販売取扱所	一般取扱所
施設数		143	1	90	15	21		35		13	6	52	33	1	18

(6) 施設の許可、届出等の状況

令和3年度中

区分	施設	合計	製造所	貯蔵所	貯蔵所						取扱所	取扱所			
					屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所		屋外貯蔵所	給油取扱所	販売取扱所	一般取扱所
設置	許可	1	0	0								1			1
	完成		0	0											
変更	許可	6	0	1				1				5	5		
	完成	7	0	2		1		1				5	5		
仮使用承認		5	0	1				1				4	4		
仮貯蔵仮取扱			0	0											
完成検査前検査 (タンク水張・水圧検査)			0	0											
保安監督者選任届出書		14	0	6	2	4						8	6		2
廃止届		3	0	2	2							1	1		
使用休止届		1	0	1						1					
譲渡引渡届			0	0											
予防規定認可		3	0	0								3	3		
合計		40	0	13	4	5	0	3	0	1	0	27	24	0	3

(7) 数量別危険物製造所等数

令和4年3月31日現在

数量別	区分	合計	製造所	貯蔵所	貯蔵所						取扱所	取扱所					
					屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所		屋外貯蔵所	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所
5倍以下		61		50	12	6		20		10	2	11	3				8
5倍をこえ 10倍以下		31		22	3	6		9		1	3	9	4				5
10倍をこえ 50倍以下		25		12		5		5		2		13	8		1		4
50倍をこえ 100倍以下		8		4		2		1			1	4	3				1
100倍をこえ 150倍以下		5	1									4	4				
150倍をこえ 200倍以下		10		1		1						9	9				
200倍をこえ 1,000倍以下		3		1		1						2	2				
1,000倍をこえ 5,000倍以下																	
5,000倍をこえ10,000倍以下																	
10,000倍をこえるもの																	
合計		143	1	90	15	21		35		13	6	52	33		1		18

(8) 外郭団体の結成状況

令和4年3月31日現在

名 称	会長名	結成年月日	会員数
臼杵市少年婦人防火委員会	亀井 英樹	昭和55年11月20日	881
臼杵市危険物安全協会	会長職務代理者 渡邊 慶祐	昭和38年 4月 1日	63

(9) 臼杵市少年婦人防火委員会内訳

令和4年3月31日現在

ク ラ ブ 名	団体数	人数	備考
幼 年 消 防 ク ラ ブ	13	840	
婦 人 防 火 ク ラ ブ	3	41	

(10) 自主防災会組織結成状況

令和4年3月31日現在

	臼杵地区	野津地区	計
総 行 政 区 数	173	131	304
結 成 行 政 区 数	171	131	302
組 織 数	162	10	172
行 政 区 結 成 率	98.8%	100.0%	99.3%

2. 火災

(1) 火災発生状況

各年1月1日～12月31日

区分 年	合 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	爆 発	建物焼損棟数				り 災 世 帯 数	死 者 (人)	負 傷 者 (人)	
									全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や				
平成24年	13	8					5		10	2		2	6	8		1
平成25年	24	9	3	4	1		7		14	6		5	3	5		
平成26年	20	9	5				6		16	7	1	3	5	9	1	2
平成27年	17	7	5				5		10	2	2	3	3	8		1
平成28年	17	9	2	2			4		13	5		4	4	7		4
平成29年	28	11	4	1			12		16	7	1	4	4	11		2
平成30年	19	8	5	1			5		14	6		4	4	6	1	
令和元年	21	10	4	1			6		15	8		2	5	5	1	2
令和 2年	15	6	1	1			7		10	4		4	2	5		1
令和 3年	18	8	2				8		16	8		4	4	8		3
過去10年 平均数値	19.20	8.5	3.1	1	0.1	0	6.5	0	13.4	5.5	0.4	3.5	4	7.2	0.3	1.6

(2) 火災損害額、焼損面積

各年1月1日～12月31日

区分 年	合 計 (千円)	損害額							焼損面積	
		建 物 (千円)	林 野 (千円)	車 両 (千円)	船 舶 (千円)	航 空 機 (千円)	そ の 他 (千円)	爆 発 (千円)	建 物 (㎡)	林 野 (a)
平成24年	210,654	10,654					200,000		168	10
平成25年	253,008	249,922		2,506	200		380		1,616	6
平成26年	45,230	45,228	2						1,083	53
平成27年	8,490	8,460					30		527	4
平成28年	30,028	28,308		1,720					3,410	14
平成29年	11,961	11,900		7			54		618	33
平成30年	23,163	23,063		100					552	73
令和元年	29,147	28,825		322					1,119	71
令和 2年	8,226	7,726		500					347	2
令和 3年	16,393	16,238					155		711	1
過去10年 平均数値	63,630	43,032	0	516	20	0	20,062	0	1,015	27

(3) 火災発生原因

各年1月1日～12月31日

種別 年別	合計	たばこ	焚火	火遊び	こんろ	放火	風呂・かまど	ストーブ	放火の疑い	マッチ・ライター	煙突・煙道	電気配線	火入れ	ロウソク	溶接の火花	線香	その他・不明
平成24年	13		5		1		1	1				1					4
平成25年	24	1	8	2	2	1					2				1		7
平成26年	20	2					1	1		1	1						14
平成27年	17	1	6				1		3			2					4
平成28年	17		5		1	1	2					1					7
平成29年	28	2	4		1		1				4	1				1	14
平成30年	19	3	1				1					3		1			10
令和元年	21		12					2	1								6
令和 2年	15		9		1												5
令和 3年	18		2		1		1	2				1	3				8
過去10年平均数値	19.2	0.9	5.2	0.2	0.7	0.2	0.8	0.6	0.4	0.1	0.7	0.9	0.3	0.1	0.1	0.1	7.9

(4) 月別火災発生件数

各年1月1日~12月31日

月別 年別	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成24年	13	1		1	3		1		1	1	2	1	2
平成25年	24	3	2	2	4	4	1		2	1		1	4
平成26年	20	4	3	3	2	3	1	1			1	1	1
平成27年	17		1	8	2	1						2	3
平成28年	17	1	2	3	1		1	2	1		1	2	3
平成29年	28	4	6	6			1	1	2	2	1	0	5
平成30年	19	3	3	1	1	4	1	4	1				1
令和元年	21	5	2	2	3	3	2	1				2	1
令和 2年	15	2	3	2	2	2			3			1	
令和 3年	18	2	4	1	1	4	2	1		1	1		1
過去10年 平均数値	19.2	2.5	2.6	2.9	1.9	2.1	1.0	1.0	1.0	0.5	0.6	1.0	2.1

(5) 時刻別火災発生件数

各年1月1日~12月31日

時刻 年別	合 計	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	不 明
		時 01 時	時 02 時	時 03 時	時 04 時	時 05 時	時 06 時	時 07 時	時 08 時	時 09 時	時 10 時	時 11 時	時 12 時	時 13 時	時 14 時	時 15 時	時 16 時	時 17 時	時 18 時	時 19 時	時 20 時	時 21 時	時 22 時	時 23 時	時 00	
平成24年	13			1	1			1			2		3	2	1		1		1							
平成25年	24	2	1			1			2	1	1	1	1	1		4	1	2	1	1			3	1		
平成26年	20						1				1	3	1		5	1	1		2	3			1	1		
平成27年	17		1							2		2	4		1	1	1		1	2		1		1		
平成28年	17		1		1				1	1	1		1		1	2	3		1	1			1	1		1
平成29年	28	2						2	1	1	2	2	4		2	2	3	1	2	1		1	1	1		
平成30年	19						1		1		1		5	1	2	2		1	1	3				1		
令和元年	21		1		1		1				1		2		3	1	2	2	1	3	1					2
令和 2年	15	1		1							2	2		1	1	3	1	1					1	1		
令和 3年	18										1	2	1	3	3		2	2	2	1	1					
過去10年 平均数値	19.2	0.5	0.4	0.2	0.3	0.1	0.3	0.3	0.5	0.5	1.2	1.2	2.2	0.8	1.9	1.6	1.5	0.9	1.2	1.5	0.2	0.2	0.7	0.7	0.0	0.3

III. 警防編

1. 救急

(1) 救急出場状況等総括表

令和3年中

区分 署所	出場 件数 (件)	搬 送 件 数 (件)	不 搬 送 件 数 (件)	医 師 等 搬 送 数 (件)	医 療 資 材 搬 送 件 数 (件)	搬 送 人 員 (人)	出 場 人 員 (延人)	出 場 車 両 (延台)	一日平均	
									出 場 件 数	搬 送 人 員
合 計	2,103	2,007	96	0	0	2,019	6,058	2,103	5.8	5.5
臼杵市消防署	1,772	1,695	77	0	0	1,705	4,964	1,772	4.9	4.7
野津分署	331	312	19	0	0	314	1,094	331	0.9	0.9

(2) 救急出場状況等の事故種別一覧表

令和3年中

種別 署所	合 計	救 急 事 故 種 別														
		火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	医 資 輸 送	そ の 他	
全 体	出場件数	2,103	2	0	1	111	17	8	321	1	11	1,118	493	0	0	20
	搬送件数	2,007	2	0	0	96	17	8	314	0	10	1,068	492	0	0	0
	不搬送件数	96	0	0	1	15	0	0	7	1	1	50	1			20
	搬送人員	2,019	2	0	0	106	17	8	316	0	10	1,068	492			0
臼 杵 市 消 防 署	出場件数	1,772	2	0	1	87	14	7	271	1	8	900	463	0	0	18
	搬送件数	1,695	2	0	0	73	14	7	265	0	7	865	462	0	0	0
	不搬送件数	77	0	0	1	14	0	0	6	1	1	35	1			18
	搬送人員	1,705	2	0	0	81	14	7	267	0	7	865	462			0
野 津 分 署	出場件数	331	0	0	0	24	3	1	50	0	3	218	30	0	0	2
	搬送件数	312	0	0	0	23	3	1	49	0	3	203	30	0	0	0
	不搬送件数	19	0	0	0	1	0	0	1	0	0	15	0			2
	搬送人員	314	0	0	0	25	3	1	49	0	3	203	30			0

(3) 過去5年間の救急発生状況

年	種別	合 計	救 急 事 故 種 別										
			火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
平成29年	出場件数	2,402	0	2	3	163	9	5	386	7	14	1,197	616
	搬送人員	2,285	0	1	2	143	9	5	371	4	9	1,143	598
平成30年	出場件数	2,340	0	0	4	127	13	5	368	3	16	1,236	568
	搬送人員	2,220	0	0	2	116	13	4	353	3	10	1,175	544
令和 元年	出場件数	2,225	1	0	1	112	17	11	339	3	15	1,201	525
	搬送人員	2,115	1	0	0	102	17	11	321	2	12	1,140	509
令和 2年	出場件数	2,014	1	0	1	104	12	8	344	2	5	1,105	432
	搬送人員	1,909	1	0	1	95	12	8	331	2	4	1,049	406
令和 3年	出場件数	2,103	2	0	1	111	17	8	321	1	11	1,118	513
	搬送人員	2,019	2	0	0	106	17	8	316	0	10	1,068	492

(4) 月別、時間別出場件数

令和3年中

区分	種別	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
													転院	医師搬送	医資輸送	その他
月別	1月	185				8	1		24		1	101	46			4
	2月	141				3		1	26			70	40			1
	3月	186				8			21	1	2	94	59			1
	4月	169				7	1	2	26			95	34			4
	5月	168	1		1	9	3		27		2	78	47			
	6月	175				7	1		33		1	94	37			2
	7月	189				15	3	3	23		1	105	36			3
	8月	195				9	1		32		2	109	39			3
	9月	164	1			10	2	1	30			80	40			
	10月	169				7	1		28			89	43			1
	11月	170				12	3		29			91	34			1
	12月	192				16	1	1	22		2	112	38			
合計	2,103	2	0	1	111	17	8	321	1	11	1,118	493	0	0	20	
時間別	0~2	101							12			79	7			3
	2~4	69				2	1		4		1	57	4			
	4~6	78				4			18			53	3			
	6~8	120				5			21		1	90	3			
	8~10	233			1	13	4	1	47		2	110	53			2
	10~12	314				20	4	2	45		2	130	110			1
	12~14	257	1			16	3	2	36		1	95	102			1
	14~16	245				20	3	1	40			101	78			2
	16~18	234				21	1	1	39		1	104	66			1
	18~20	191	1			6			27		1	107	41			8
20~22	135				1	1	1	19	1	2	95	14			1	
22~24	126				3			13			97	12			1	

(5) 月別、時間別搬送人員

令和3年中

区分	種別	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
月別	1月	176				8	1		24		1	96	46
	2月	137				3		1	26			67	40
	3月	179				6			22		2	91	58
	4月	160				7	1	2	26			90	34
	5月	166	1			9	3		27		1	78	47
	6月	169				6	1		33		1	91	37
	7月	181				15	3	3	23		1	100	36
	8月	185				7	1		32		2	104	39
	9月	161	1			11	2	1	30			76	40
	10月	161				7	1		25			85	43
	11月	164				13	3		28			86	34
	12月	180				14	1	1	20		2	104	38
合計		2,019	2	0	0	106	17	8	316	0	10	1,068	492
時間別	0~2	96							12			77	7
	2~4	66				1	1		4			56	4
	4~6	73				4			18			48	3
	6~8	113				4			20		1	85	3
	8~10	226				12	4	1	47		2	107	53
	10~12	302				17	4	2	46		2	122	109
	12~14	252	1			17	3	2	35		1	91	102
	14~16	235				17	3	1	39			97	78
	16~18	231				23	1	1	39			101	66
	18~20	177	1			7			27		1	100	41
	20~22	126				2	1	1	16		1	91	14
22~24	122				2			13		2	93	12	

※事故種別の欄中「その他」とは、その他の事故を含む残りすべての事故をいう。

(6) 曜日別出場件数及び搬送人員

令和3年中

区分	種別	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
月曜日	出場件数	337	1			13	3		44		3	189	84
	搬送人員	323	1			12	3		44		3	177	83
火曜日	出場件数	286				11	2	2	41		2	136	92
	搬送人員	270				9	2	2	40		1	129	87
水曜日	出場件数	294				17	3		45		1	148	80
	搬送人員	285				14	3		45		1	144	78
木曜日	出場件数	312	1			18	3	1	55		2	157	75
	搬送人員	302	1			17	3	1	54		2	151	73
金曜日	出場件数	337				19	3	1	45		1	173	95
	搬送人員	327				20	3	1	45		1	168	89
土曜日	出場件数	278			1	19	3		48		1	153	53
	搬送人員	266				20	3		47		1	146	49
日曜日	出場件数	259				14		4	43	1	1	162	34
	搬送人員	246				14		4	41		1	153	33
合計	出場件数	2,103	2	0	1	111	17	8	321	1	11	1,118	513
	搬送人員	2,019	2	0	0	106	17	8	316	0	10	1,068	492

※事故種別の欄中「その他」とは、その他事故を含む残りすべての事故をいう。

(7) 年齢別、傷病程度別搬送人員

令和3年中

区分	種別	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
新生児		0											
乳幼児		43				4			5			34	
少年		32				4		6	8		1	10	3
成人		399				50	10	1	38		8	209	83
高齢者		1,545	2			48	7	1	265		1	815	406
合計		2,019	2	0	0	106	17	8	316	0	10	1,068	492
死亡		37				2			2		3	29	1
重症		441	1			10	4	1	83			185	157
中等症		1,007	1			32	6		134		2	524	308
軽症		512				57	5	7	95		5	320	23
その他		22				5	2		2			10	3

※事故種別の欄中「その他」とは、その他の事故を含む残りすべての事故をいう。

(8) 現場到着所要時間別出動件数

令和3年中

種別	時間	合計	所要時間					現場到着 平均時間
			3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	
急病		1,118	11	34	730	318	25	8.9
交通		111	1	9	48	43	10	10.8
一般負傷		321	3	13	184	111	10	9.3
その他		553	4	260	244	38	7	6.0
合計		2,103	19	316	1,206	510	52	8.3

※事故種別の欄中「その他」とは、その他事故を含む残りすべての事故をいう。

(9) 収容所要時間別搬送人員

令和3年中

種別	時間	合計	所要時間						収容平均 所要時間
			10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	
急病		1,068	2	57	360	560	88	1	37.0
交通		106		4	24	55	23		44.8
一般負傷		316		13	111	151	40	1	38.5
その他		529		42	100	370	17		38.7
合計		2,019	2	116	595	1,136	168	2	38.1

※事故種別の欄中「その他」とは、その他事故を含む残りすべての事故をいう。

(10) 医療機関別搬送人員

令和3年中

種別	時間	急病		交通		一般負傷		その他		合計	
		うち 管内	うち 管外	うち 管内	うち 管外	うち 管内	うち 管外	うち 管内	うち 管外	うち 管内	うち 管外
救急告示 医療機関	国立	50	50	6	6	10	10	113	113	179	179
	公立	22	22	4	4	1	1	35	35	62	62
	公的	15	15			2	2	27	27	44	44
	私的病院	181	181	33	33	50	50	167	167	431	431
	私的診療所									0	0
	計	268	268	43	43	63	63	342	342	716	716
その他の 医療機関	国立							1	1	1	1
	公立									0	0
	公的									0	0
	私的病院	720	19	49		214	5	169	16	1,152	40
	私的診療所	70	8	9		37	1	10	1	126	10
	計	790	27	58	0	251	6	180	18	1,279	51
その他の場所	計	10	1	5		2		7	1	24	2
合計		1,068	296	106	43	316	69	529	361	2,019	769

※事故種別の欄中「その他」とは、その他事故を含む残りすべての事故をいう。

(11) 発生場所別搬送人員

令和3年中

種別	場所	住宅	公衆出入場所	仕事場	道路	その他	計
急病		815	200	17	26	10	1,068
交通			2		101	3	106
一般負傷		205	47	5	29	30	316
その他		10	501	15		3	529
合計		1,030	750	37	156	46	2,019

※事故種別の欄中「その他」とは、その他事故を含む残りすべての事故をいう。

(12) 救急隊員の行った応急処置件数

令和3年中

応急処置別	事故種別	急病	交通	一般負傷	その他	計
	対象人員	1,068	106	316	529	2,019
止血	血	2	3	18		23
固定	定	5	70	57	11	143
人工呼吸	吸	8		1	2	11
胸骨圧迫	迫	8		2	2	12
心肺蘇生	生	30	2	4	4	40
酸素吸入	入	249	14	26	134	423
	小計	41	3	7	5	56
気道確保	1	2		1		3
	2	1				1
	3	16				16
	4	12	1	3	1	17
保温	温	19	5	6	2	32
被覆	覆	4	16	61	7	88
在宅療法	法					0
ショックパンツ						0
除細動	動	2			1	3
その他	他	1,028	102	306	513	1,949
血圧測定	定	1,030	104	310	522	1,966
聴診器	器	609	63	79	84	835
血中酸素	素	1,041	105	314	524	1,984
心電図	図	776	43	112	266	1,197
心電図(伝送)		50			2	52
血糖測定	定	39		1	2	42
静脈路確保(CPA前)		10	4	4		18
静脈路確保(CPA後)		25	1	4	3	33
アドレナリン投与		20	2	3	2	27
ブドウ糖投与		4				4
エピペン投与						0
合計		5,000	537	1,315	2,086	8,938

※事故種別の欄中「その他」とは、その他の事故を含む残りすべての事故をいう。

気道確保のうち

- 1：経鼻エアウェイを使用している内数
- 2：喉頭鏡、鉗子等により異物を除去した件数の内数
- 3：LM等(声門上気道デバイス)を使用して行った件数の内数
- 4：気管挿管を行った内数

2. 救助

(1) 救助出場状況等総括表

令和3年中

区分	種別	合計	火災		交通事故	水難事故	自然災害	機械事故	事建物等故の	酸ガ欠ス事及び	破裂事故	事その他故の
			建物	建物以外								
本署	出場件数	19			15	1						3
	活動件数	7			6	0						1
	救助人員	4			3	0						1
分署	出場件数	7			6							1
	活動件数	6			5							1
	救助人員	5			5							0
合計	出場件数	26	0	0	21	1	0	0	0	0	0	4
	活動件数	13	0	0	11	0	0	0	0	0	0	2
	救助人員	9	0	0	8	0	0	0	0	0	0	1

(2) 発生場所別出動件数

令和3年中

区分	種別	合計	火災		交通事故	水難事故	自然災害	機械事故	事建物等故の	酸ガ欠ス事及び	破裂事故	事その他故の
			建物	建物以外								
屋内	住居	0										
	その他	0										
屋外	道路	高速自動車道	0									
		その他	14		14							
	水面	内水面	2		2							
		外水面	1			1						
	山岳	0										
	その他	3			2							1
地下	0											
その他	6			3								3
合計		26	0	0	21	1	0	0	0	0	0	4

3. 施設

(1) 消防本部車両等の配備状況

令和4年4月1日現在

署所	名称	車名	車両番号	登録年	ポンプ等級	備考
白杵市消防署	No.1号車	日野	800す2264	平成27年	A-2	消防ポンプ自動車
	No.3号車	日野	800さ9289	平成22年	A-1	消防ポンプ自動車
	No.4号車	日野	800さ6719	平成18年	A-2	消防ポンプ自動車
	化学車	日野	800は 951	平成26年	A-2	化学消防ポンプ自動車
	救助工作車	日野	830さ1196	令和 2年		救助工作車Ⅱ型
	救急車2	トヨタ	800す2237	平成27年		高規格救急自動車
	救急車3	トヨタ	830さ7119	平成31年		高規格救急自動車
	救急車4	トヨタ	800さ6825	平成18年		高規格救急自動車
	指揮車	トヨタ	800さ3450	平成14年		
	水害パトロール車	三菱	800さ9928	平成23年		
	小型運搬車1	ダイハツ	800す4335	平成31年		
	広報車1	スズキ	480す8889	平成27年		
	広報車2	ダイハツ	480<7374	平成23年		
	連絡車	ニッサン	400た7717	平成27年		
	トレーラー	組立	800る 501	令和 2年		総務省消防庁無償貸与
水上バイク			令和 2年		総務省消防庁無償貸与	
野津分署	No.2号車	日野	830せ1192	令和 3年	A-2	消防ポンプ自動車
	救急車1	トヨタ	800す3898	平成30年		高規格救急自動車
	救急車5	トヨタ	800す1101	平成25年		高規格救急自動車
	小型運搬車2	三菱	880あ 204	平成19年		
	広報車3	トヨタ	800す2177	平成27年		

(2) 消防資機材の配備状況

令和4年4月1日現在

	名称	計	本部 (署)	分署
消火用器具	消防ホース (65mm)	280	192	88
	消防ホース (50mm)	93	71	22
	蛋白泡消火剤	18	9	9
	クラスA消火剤	10	10	
一般救助器具	かぎ付きはしご	4	3	1
	三連はしご	6	5	1
	ワイヤーはしご	1	1	
	空気式救助マット	1	1	
	救命索発射銃	1	1	
	サバイバースリング (救助用縛帯)	3	2	1
	平担架	1	1	
重量物排除用器具	油圧ジャッキ	1	1	
	可搬ウインチ	4	3	1
	マンホール救助器具	2	2	
	マット型空気ジャッキ	2	2	
	大型油圧スプレッダー	3	2	1
切断用器具	エンジンカッター	3	3	
	チェーンソー	6	5	1
	鉄線カッター	10	8	2
	空気鋸	2	2	
	大型油圧切断機	3	2	1
	空気切断機	1	1	
破壊用器具	万能斧	7	6	1
	携帯用コンクリート破壊器具	2	2	
	削岩機	3	3	
	ハンマドリル	3	3	
測定用器具	可燃性ガス測定器	3	2	1
	有毒ガス測定器	3	2	1
	酸素濃度測定器	3	2	1
	放射能測定器	2	2	

	名称	計	本部 (署)	分署
呼吸保護用器具	空気呼吸器	25	21	4
	酸素呼吸器	5	5	
	簡易呼吸器	2	2	
	防塵マスク	5	5	
	送排風機	1	1	
隊員保護用器具	耐電手袋	13	8	5
	耐電衣	2	2	
	耐電ズボン	2	2	
	耐電長靴	2	2	
	携帯警報器	15	15	
	防毒マスク	8	8	
	耐熱服	4	4	
水難救助用器具	潜水器具	8	8	
	救命胴衣	51	40	11
	救命浮環	5	4	1
	救命ボート	4	3	1
	船外機	2	2	
	水上オートバイ	1	1	
その他の救助用器具	バスケット型担架	3	2	1
	簡易画像探索器	2	2	
	投光器	6	5	1
	応急処置用セット	1	1	
	車両移動器具	2	2	
	緩降機	1	1	
	ロープ登降機	2	2	
発電機	8	7	1	

(3) 消防水利の現有状況

令和4年4月1日現在

区分 分団	公設消火栓			防火水槽						井戸				プ ル	河 川 ・ 溝 ・ 池 等	そ の 他
	計	基 準 適 合	基 準 適 合 外	公 設			私 設			公 設		私 設				
				計	40 m ³ 未 満	40 m ³ 以 上	計	40 m ³ 未 満	40 m ³ 以 上	計	40 m ³ 未 満	40 m ³ 以 上				
合計	1008	359	649	384	41	343	5		5					23		
小計	772	300	472	236	37	199	5		5					18		
白 杵 市 消 防 署 管 内	第 1 分団地区	28	22	6	2		2									
	第 2 分団地区	48	31	17	3		3							2		
	第 3 分団地区	51	32	19	9		9							1		
	第 4 分団地区	22	9	13	7	3	4									
	第 5 分団地区	48	25	23	7		7							2		
	第 6 分団地区	117	51	66	31		31							2		
	第 7 分団地区	67	24	43	32	9	23	1		1				1		
	第 8 分団地区	37	0	37	5	2	3							1		
	第 9 分団地区	25	0	25	7	3	4									
	第 10 分団地区	41	24	17	9		9							2		
	第 11 分団地区	72	21	51	56	9	47	1		1				2		
	第 12 分団地区	50	10	40	12	1	11							1		
	第 13 分団地区	81	34	47	26	3	23	3		3				1		
	第 14 分団地区	45	14	31	20	7	13							2		
	第 15 分団地区	40	3	37	10		10							1		
小計	236	59	177	148	4	144							5			
野 津 分 署 管 内	第 1 分団地区	47	9	38	26		26									
	第 2 分団地区	71	18	53	38	2	36							2		
	第 3 分団地区	53	24	29	22	2	20							2		
	第 4 分団地区	47	7	40	42		42							1		
	第 5 分団地区	18	1	17	20		20									

4. 通信

(1) 119番受信件数

令和3年中

	火災	救急	救助	警戒	その他	誤報	計
加入電話	3	672	9	35		1	720
119固定	3	408	2	4		12	429
119携帯	9	644	10	7		29	699
119IP	3	287	2			7	299
駆け込み		11					11
自己覚知			1	1			2
緊急通報システム		7					7
その他			1	11			12
合計	18	2,029	25	58	0	49	2,179

(2) 無線関係

令和4年4月1日現在

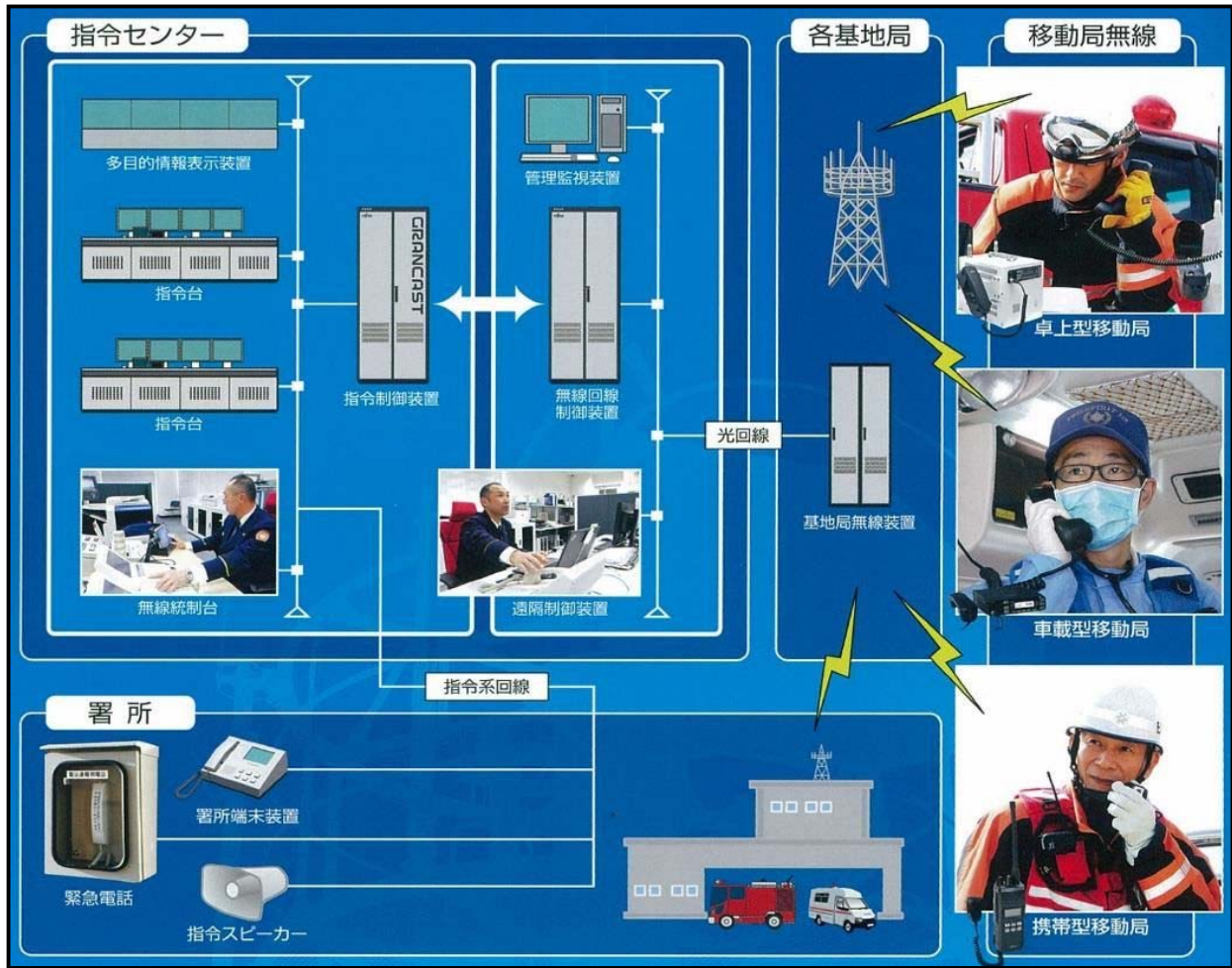
名称	周波数	局数	備考
消防救急デジタル無線	260MHz	68	
中継局		2	水ヶ城 1・白山 1
卓上型固定移動局		3	消防署 2・野津分署 1
車載型移動局		18	消防署 13・野津分署 5
携帯型移動局		19	消防署 14・野津分署 5
携帯型移動局		26	臼杵方面隊 18・野津方面隊 8
デジタル簡易無線	350MHz	121	
消防団		117	
中継局		4	
アナログ署活動波無線	400MHz	23	
消防署		17	
野津分署		6	

(3) 指令システム主要設備

令和4年4月1日現在

品名・仕様	本部・本署	野津分署	備考
1 指令装置			
(1) 指令台	1 式		
(1) 自動出動指定装置	1 式		
(2) ア 制御処理装置	1 式		
イ ディスプレイ	2 台		
(3) 地図等検索装置	2 式		
ア 地図等検索装置	4 台		
イ 地図用ディスプレイ	4 台		
(4) 支援情報表示装置	2 式		
ア 支援情報表示装置	2 台		
イ ディスプレイ	2 台		
(5) データメンテナンス装置	1 式		
(6) 長時間録音装置	1 式		
(7) 非常用指令装置	1 式		
(8) 指令制御装置	1 式		
(9) 携帯電話・IP電話受信装置	1 式		
(10) カラー複合機	1 式		
(11) 署所端末			
ア 署所端末装置	1 式	1 式	
イ 署所駆け込み通報装置		1 式	
ウ 無線バックアップ受令機		1 式	
(12) DBサーバー装置	1 式		
(13) データ修正装置	1 式		
(14) 制御サーバー装置	1 式		
2 表示盤			
(1) 車両運用表示盤	1 面		60型液晶
(2) 支援情報表示盤	1 面		60型液晶
(3) 多目的情報表示盤	2 面		60型液晶
(4) 映像制御装置	1 式		
(5) 署所用表示盤	1 式	1 式	40型液晶
3 無線統制台	1 式		
4 指令電送装置			
(1) 指令情報送信装置	1 式		指令台装置に含む
(2) 指令情報出力装置	2 式	1 式	
5 災害状況等自動案内装置	1 式		
6 順次指令装置	1 式		
7 音声合成装置	1 式		
8 出動車両運用管理装置			
(1) 管理装置	1 式		FOMA利用
(2) 車両運用端末装置	11 式	3 式	Ⅲ型
(3) AVM用更新装置	3 台		
9 気象情報収集装置	1 式	1 式	
10 位置情報通知装置	1 式		統合型
11 システム監視装置	1 式		
12 消防OAシステム	1 式		
13 映像伝送システム	1 式		
(1) 映像管理装置	1 式		
(2) 可搬型カメラ装置	1 式	1 式	
14 災害監視カメラシステム	1 式		
15 サイネージシステム	1 式		
(1) 制御処理装置	1 式		コンテンツ作成
(2) 制御処理装置	4 式		コンテンツ表示
16 ネットワーク装置	1 式		L2SW/L3SW
17 電源設備			
(1) 無停電電源装置	3 式	1	
(2) 直流電源装置	2 式	1 式	48V本部用、12V署所端末用
18 メール配信装置	1 式		

(4) 指令センター・無線設備系統図



主な設備



(5) 気象

令和3年中

雨量

単位：mm

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	備考
総雨量	32.0	86.5	118.5	107.0	146.0	75.0	201.5	403.5	89.0	84.5	37.0	8.0	1,388.5
日最大	23.0	40.0	45.0	45.5	30.0	34.0	60.5	140.0	45.0	58.0	16.5	7.0	140.0
時間最大	4.0	5.5	11.0	10.5	7.0	5.5	35.5	38.5	15.5	14.0	5.0	3.5	38.5

※備考中、総雨量…年間総雨量、日最大…年間日最大雨量、時間最大…年間時間最大雨量を表しています。

気温

単位：℃

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	備考
平均	5.7	8.6	12.1	14.5	18.4	22.4	26.0	26.1	24.1	19.0	12.2	7.6	16.4
最高	18.0	22.9	22.4	25.1	29.5	30.9	33.2	34.3	32.0	30.6	21.9	18.1	34.3
最低	-5.1	-2.0	0.3	2.3	6.0	15.0	20.9	21.3	16.8	7.9	1.5	-2.6	-5.1

※備考中、平均…年間平均気温、最高…年間最高気温、最低…年間最低気温を表しています。

湿度

単位：%

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	備考
平均	75.0	74.6	80.6	73.8	82.4	85.9	86.7	89.6	87.9	83.5	81.7	73.3	81.3
最高	98.0	98.3	98.3	98.3	98.3	98.6	98.6	98.6	98.6	98.6	98.6	98.3	98.6
最低	32.2	21.6	22.2	13.6	18.6	26.3	48.0	52.4	45.5	36.9	34.1	32.4	13.6

※備考中、平均…年間平均湿度、最高…年間最高湿度、最低…年間最低湿度を表しています。

風速

単位：m/s

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	備考
平均	2.1	2.4	2.2	2.1	1.9	1.6	1.6	1.5	1.7	2.0	2.3	2.2	2.0
瞬間最大	14.3	18.9	17.9	18.5	19.5	12.9	10.5	18.0	21.0	15.6	14.8	15.3	21.0

※備考中、平均…年間平均風速、瞬間最大…年間瞬間最大風速を表しています。

風向頻度

単位：%

風向	北	北北東	北東	東北東	東	東南東	南東	南南東	南	南南西	南西	西南西
頻度	2.3	4.1	18.2	7.4	1.8	0.6	0.6	0.8	1.5	3.8	35.5	13.6
風向	西	西北西	北西	北北西	静穏							
頻度	2.6	1.5	1.2	1.3	3.2							

※ このデータの観測地点は白杵市消防署です。

V. 消防団編

1. 消防団

(1) 歴代消防団長

臼杵市消防団長

(平成29年4月1日～)

歴代	氏名	在職期間	備考
初代	小野孝義	自平成29年4月1日 至現在に至る	

臼杵消防団長 (臼杵市連合消防団長兼務)

(平成17年1月1日～平成29年3月31日)

歴代	氏名	在職期間	備考
初代	甲斐弘一	自平成17年1月1日 至平成21年6月30日	
2代	佐々木武則	自平成21年7月1日 至平成25年3月31日	
3代	小野孝義	自平成25年4月1日 至平成29年3月31日	

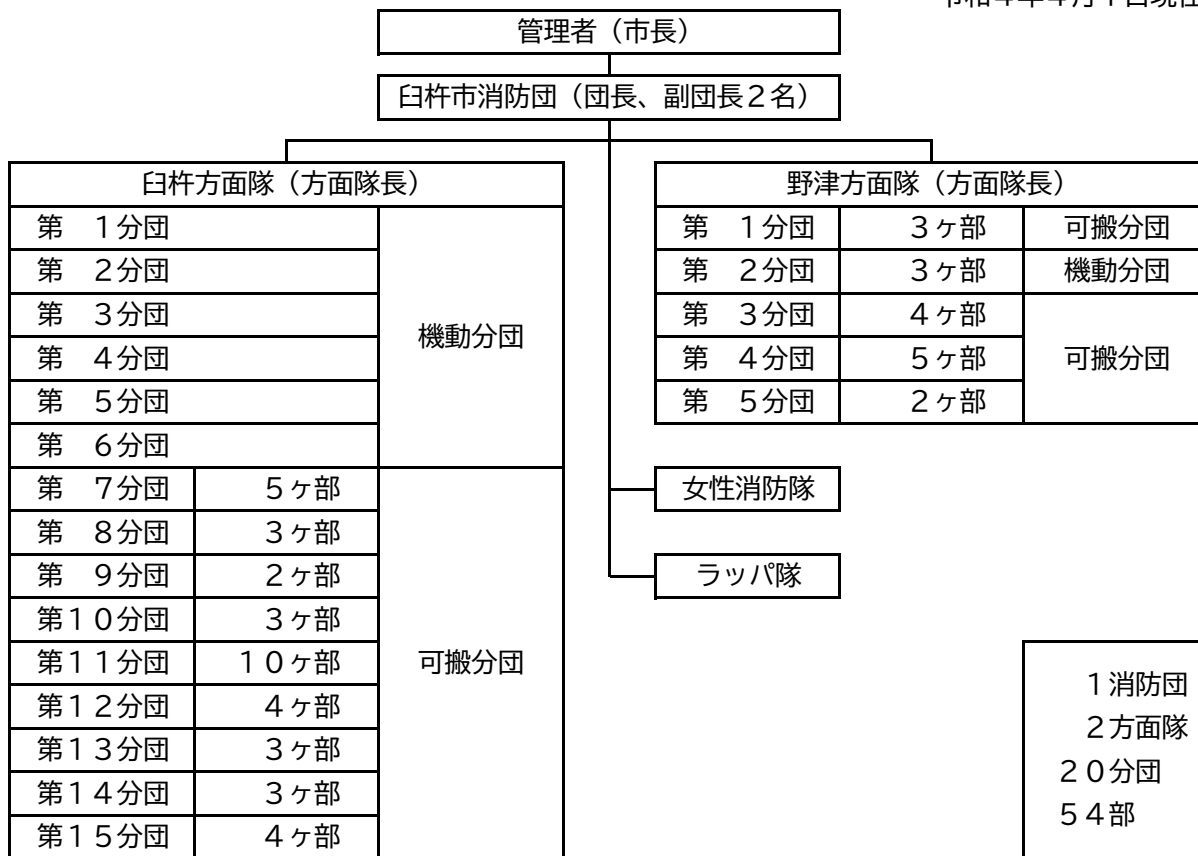
野津消防団長

(平成17年1月1日～平成29年3月31日)

歴代	氏名	在職期間	備考
初代	後藤政輝	自平成17年1月1日 至平成17年9月27日	
2代	平山一彦	自平成17年9月28日 至平成21年9月27日	
3代	道脇慎一郎	自平成21年9月28日 至平成29年3月31日	

(2) 消防団組織機構図

令和4年4月1日現在



(3) 消防団員実員数

令和4年4月1日現在

分団名	数	職種								
		計	団長	副団長	方面隊長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
定数		750	1	2	2	21	27	54	238	405
実数		709	1	2	2	21	27	54	238	364
団本部		5	1	2	2					
白杵方面隊	第1分団	25				1	2		4	18
	第2分団	17				1	2		4	10
	第3分団	15				1	2		4	8
	第4分団	17				1	2		4	10
	第5分団	16				1	2		4	9
	第6分団	17				1	2		4	10
	第7分団	44				1	1	5	20	17
	第8分団	30				1	1	3	12	13
	第9分団	27				1	1	2	8	15
	第10分団	31				1	1	3	12	14
	第11分団	73				1	1	10	40	21
	第12分団	31				1	1	4	13	12
	第13分団	34				1	1	3	12	17
	第14分団	28				1	1	3	12	11
	第15分団	37				1	1	4	16	15
野津方面隊	第1分団	35				1	1	3	12	18
	第2分団	56				1	2	3	12	38
	第3分団	45				1	1	4	16	23
	第4分団	66				1	1	5	19	40
	第5分団	47				1	1	2	8	35
ラッパ隊		1				1				
女性消防隊		12						2	10	

☆野津方面隊の団員は各分団、機能別消防団員2名を含む（計8名）

(4) 消防団員年齢・階級別数

令和4年4月1日現在

分団名	数	職種								
		計	団長	副団長	方面隊長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
実数		709	1	2	2	21	27	55	237	364
65才以上		20	1	1	1	5	1		4	7
60才以上 65才未満		23		1		2		4	5	11
50才以上 60才未満		141				9	15	14	47	56
40才以上 50才未満		291			1	5	10	29	117	129
30才以上 40才未満		176					1	8	57	110
20才以上 30才未満		58							7	51
20才未満		0								

(5) 消防団員在職年数

令和4年4月1日現在

分団名	在職年数		5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
	計								
計	709		97	151	122	119	85	77	58
団本部	5							1	4
白杵 方面隊	第1分団	25	4	8	3	1	3	4	2
	第2分団	17	6	1	4	2	1	1	2
	第3分団	15	2	3	1	5		2	2
	第4分団	17	4	3	3	1	3	1	2
	第5分団	16	1	1	4	4	2	4	
	第6分団	17	4	2	3	1	1	3	3
	第7分団	44	8	10	9	10	6	1	
	第8分団	30	2	3	7	7	6	2	3
	第9分団	27	3	4	5	8	3	4	
	第10分団	31	4	6	5	6	2	7	1
	第11分団	73	15	16	5	12	12	7	6
	第12分団	31	3	9	1	3	3	5	7
	第13分団	34	5	8	7	3	4	3	4
	第14分団	28	2	8	3	5	3		7
	第15分団	37	6	8	17	2	3	1	
野津 方面隊	第1分団	35	5	9	3	6	3	7	2
	第2分団	56	2	7	9	9	12	8	9
	第3分団	45	3	15	7	7	5	5	3
	第4分団	66	10	14	14	15	8	4	1
	第5分団	47	7	9	8	11	5	7	
ラッパ隊	1					1			
女性消防隊	12		1	7	4				

☆野津方面隊の団員は各分団、機能別消防団員2名を含む（計8名）

(6) 消防団車両の配置状況

令和4年4月1日現在

所属		名称	車名	登録番号	登録年	備考	
団本部		団本部車1	トヨタ	800す1994	平成26年		
		団本部車2	ニッサン	880あ1441	平成30年	軽四	
白杵方面隊	第1分団	消防ポンプ自動車	日野	800さ9724	平成22年	CD-I型	
		人員輸送車	トヨタ	800さ9807	平成22年		
	第2分団	消防ポンプ自動車	トヨタ	800さ4370	平成15年	BD-I型	
	第3分団	消防ポンプ自動車	日野	800さ8613	平成20年	CD-I型	
	第4分団	消防ポンプ自動車	トヨタ	830ほ 4	令和2年	CD-I型	
	第5分団	消防ポンプ自動車	トヨタ	800さ3444	平成14年	BD-I型	
	第6分団	消防ポンプ自動車	トヨタ	830ね 6	令和4年	CD-I型	
	第7分団	2部	小型動力ポンプ積載車	ダイハツ	880あ1120	平成27年	軽四
		3部	小型動力ポンプ積載車	ニッサン	800さ8095	平成19年	
	第8分団	2部	小型動力ポンプ積載車	トヨタ	800さ8721	平成20年	
		3部	小型動力ポンプ積載車	ダイハツ	880あ1032	平成27年	軽四
	第9分団	1部	小型動力ポンプ積載車	トヨタ	800さ9308	平成22年	
		2部	小型動力ポンプ積載車	ダイハツ	880あ 907	平成26年	軽四
	第10分団	1部	小型動力ポンプ積載車	ダイハツ	880あ1031	平成27年	軽四
		3部	小型動力ポンプ積載車	ニッサン	800さ7614	平成19年	
	第11分団	2部	小型動力ポンプ積載車	ニッサン	830た1102	令和2年	
		3部	小型動力ポンプ積載車	ダイハツ	880あ1121	平成27年	軽四
		4部	小型動力ポンプ積載車	ダイハツ	883あ1104	令和3年	軽四
		5部	小型動力ポンプ積載車	トヨタ	800さ9829	平成22年	
		8部	小型動力ポンプ積載車	トヨタ	800さ8720	平成20年	
9部		小型動力ポンプ積載車	トヨタ	800さ9307	平成22年		
第12分団	3部	小型動力ポンプ積載車	ダイハツ	880あ1122	平成27年	軽四	
	4部	小型動力ポンプ積載車	ニッサン	800さ7615	平成19年		
第13分団	1部	小型動力ポンプ積載車	ニッサン	800さ6839	平成18年		
	2部	小型動力ポンプ積載車	ダイハツ	880あ1123	平成27年	軽四	
第14分団	1部	小型動力ポンプ積載車	ニッサン	800さ5903	平成16年		
	3部	小型動力ポンプ積載車	ダイハツ	880あ1029	平成27年	軽四	
第15分団	1部	小型動力ポンプ積載車	ダイハツ	880あ1030	平成27年	軽四	
	3部	小型動力ポンプ積載車	ニッサン	800さ8096	平成19年		
野津方面隊	第1分団	1部	小型動力ポンプ積載車	ダイハツ	880あ 285	平成19年	軽四
		2部	小型動力ポンプ積載車	ダイハツ	880あ1261	平成29年	軽四
		3部	小型動力ポンプ積載車	三菱	880あ 569	平成22年	軽四
	第2分団	1部	消防ポンプ自動車	イズズ	800さ3209	平成13年	CD-I型
		2部	小型動力ポンプ積載車	ニッサン	88 す2603	平成10年	
		3部	小型動力ポンプ積載車	ダイハツ	883あ 203	令和3年	軽四
	第3分団	1部	小型動力ポンプ積載車	三菱	880あ 473	平成21年	軽四
		2部	小型動力ポンプ積載車	ダイハツ	880あ 286	平成19年	軽四
		3部	小型動力ポンプ積載車	ニッサン	800さ5892	平成16年	
		4部	小型動力ポンプ積載車	ニッサン	830す 304	令和2年	
	第4分団	1部	小型動力ポンプ積載車	ダイハツ	880あ 396	平成21年	軽四
		2部	小型動力ポンプ積載車	ダイハツ	800あ1374	平成30年	軽四
		3部	小型動力ポンプ積載車	三菱	880あ 568	平成22年	軽四
		4部	小型動力ポンプ積載車	三菱	880あ 472	平成21年	軽四
		5部	小型動力ポンプ積載車	ニッサン	800さ6840	平成18年	
	第5分団	1部	小型動力ポンプ積載車	ダイハツ	880あ 395	平成21年	軽四
		2部	小型動力ポンプ積載車	ニッサン	800す3963	平成30年	

(7) 消防団小型動力ポンプの配置状況

令和4年4月1日現在

所属		メーカー	型式	級別	購入年	備考		
白杵方面隊	第7分団	1部	シバウラ	TF640MH	B-3級	平成19年		
		2部	シバウラ	TF640MH	B-3級	平成19年		
		3部	シバウラ	TF640MH	B-3級	平成20年		
		4部	シバウラ	TF630M	B-3級	平成14年		
		5部	シバウラ	TF640MH	B-3級	平成28年		
	第8分団	1部	シバウラ	TF640MH	B-3級	平成25年		
		2部	シバウラ	FT450	B-3級	令和2年		
		3部	シバウラ	TF630M	B-3級	平成15年		
	第9分団	1部	シバウラ	TF640MH	B-3級	平成18年		
		2部	トーハツ	VC72BS	B-2級	平成26年		
	第10分団	1部	シバウラ	TF640MH	B-3級	平成20年		
		2部	シバウラ	TF640MH	B-3級	平成22年		
		3部	シバウラ	TF640MH	B-3級	平成28年		
	第11分団	1部	シバウラ	TF640MH	B-3級	平成22年		
		2部	シバウラ	TF640MH	B-3級	平成23年		
		3部	シバウラ	TF640MH	B-3級	平成18年		
		4部	シバウラ	FT450	B-3級	平成30年		
		5部	シバウラ	TF640MH	B-3級	平成23年		
		6部	シバウラ	TF640MH	B-3級	平成22年		
		7部	シバウラ	TF640MH	B-3級	平成22年		
		8部	シバウラ	TF640MH	B-3級	平成19年		
		9部	シバウラ	TF630M	B-3級	平成14年		
		10部	シバウラ	FT450	B-3級	令和2年		
	第12分団	1部	シバウラ	TF640MH	B-3級	平成20年		
		2部	シバウラ	TF630M	B-3級	平成16年		
		3部	シバウラ	TF630M	B-3級	平成15年		
		4部	シバウラ	TF640MH	B-3級	平成28年		
	第13分団	1部	シバウラ	TF640MH	B-3級	平成18年		
		2部	シバウラ	TF640MH	B-3級	平成22年		
		3部	シバウラ	FT450	B-3級	令和2年		
	第14分団	1部	シバウラ	FT450	B-3級	令和2年		
		2部	シバウラ	TF640MH	B-3級	平成18年		
		3部	シバウラ	TF640MH	B-3級	平成22年		
	第15分団	1部	シバウラ	TF640MH	B-3級	平成25年		
		2部	シバウラ	TF630M	B-3級	平成14年		
		3部	シバウラ	TF640MH	B-3級	平成17年		
		4部	シバウラ	FT450	B-3級	平成30年		
	野津方面隊	第1分団	1部	シバウラ	FT460	B-3級	令和4年	
			2部	シバウラ	TF640MH	B-3級	平成27年	
			3部	シバウラ	FT460	B-3級	令和4年	
		第2分団	2部	シバウラ	FT450	B-3級	平成29年	
			3部	シバウラ	FT450	B-3級	平成30年	
		第3分団	1部	シバウラ	FT450	B-3級	平成29年	
			2部	シバウラ	TF640MH	B-3級	平成25年	
			3部	シバウラ	TF640MH	B-3級	平成25年	
4部			シバウラ	FT450	B-3級	平成29年		
第4分団		1部	シバウラ	FT450	B-3級	平成30年		
		2部	シバウラ	TF640MH	B-3級	平成27年		
		3部	シバウラ	FT460	B-3級	令和4年		
		4部	シバウラ	FT460	B-3級	令和4年		
		5部	シバウラ	FT450	B-3級	令和1年		
第5分団		1部	シバウラ	FT450	B-3級	令和1年		
	2部	シバウラ	TF640MH	B-3級	平成27年			

A decorative graphic consisting of seven thick, horizontal black bars stacked vertically, framing the central text.

VI. その他

1. その他

(1) 旧臼杵市消防の沿革

- 明治 27 年 勅令「消防組組織」公布施行
- 明治 30 年 各町、各区にそれぞれ独立の消防組が設置され、この消防組は各区に組頭を置いていた。八町(本町、新町、掛町、浜町、横町、唐人町、田町、畳屋町)のみは各町に各組を設け、この長は小頭とし、八町連合に正副各 1 名の組頭をおいて連合組織をつくり臼杵市消防の推進力となる。この組織、形態は大正に入ってから何ら変革もなく昭和9年の町設消防創設まで続いた。
- 昭和 9 年 臼杵町消防組として、1組25部の町設消防が誕生した。
- 昭和 11 年 非常時における即応組織として、町民各層を網羅して臼杵町防護団を別途結成した。
- 昭和 14 年 4月1日勅令第20号により「警防団令」が公布施行され、消防組及び防護団を改組統合、1団9箇分団、定員720名の臼杵町警防団を結成した。
また、このときより町役場内に団本部を設け、町吏員をもって団本部員に任命、業務の円滑を図った。(4月6日)
- 昭和 22 年 勅令第185号をもって「消防団令」が公布施行された。
警防団を解散し、同時に警防団の組織のまま、臼杵町消防団として1団9箇分団、定員521名で新しく発足した。(10月9日)
- 昭和 23 年 臼杵町で初めての消防ポンプ自動車を購入し、第1分団に配備した。
- 昭和 24 年 消防車庫に電話を設け、昼間は1名の当番員を配備、夜間は所属該当の第1分団員が交替で当直勤務につき、常備(半常備)体制の第1歩を踏み出す。
- 昭和 25 年 海辺村を合併し、市制を施行(4月1日)
消防団は旧海辺村の4箇分団を10、11、12、13分団として定員600名の臼杵市消防団が発足した。
消防ポンプ自動車(三菱ふそう)1台を購入し、団本部に配置した。
消防団常備部(団本部員として常勤、実質的には半常勤)を設け、新消防法の目的とする予防消防の確立に努力した。
- 昭和 27 年 第7分団より第13分団までの機構を改編、大字集落別に部制を採用、旧海辺村は1箇分団として、7分団は5部、8分団は4部、9分団は4部、10分団は4部の1団10箇分団、定員1,070名の編成を行った。また、このときの消防組織を改革した。(8月29日)
- 昭和 28 年 消防ポンプ三輪車(ダイハツ55馬力)2台を購入し、第3分団、第5分団に配置した。(2月22日)
- 昭和 29 年 町村合併促進法により、隣接する南津留村、上北津留村、下北津留村、下ノ江村、佐志生村の5箇村を吸収合併し、大臼杵市となる。(4月1日)
消防団も合併各村消防団の編成を1村1箇分団として、各分団内に部(旧村団における分団をあてる。)を設けて統合、1団15箇分団、定員2,450名として発足した。この時の分団長会議において副分団長を当分の間5名とし、旧臼杵市より3名、旧村部より2名を選出した。(4月1日)
この時の機械力は消防ポンプ自動車2台、消防ポンプ三輪車5台、手引き動力ポンプ11台、小型動力ポンプ5台、腕用ポンプ35台であった。
消防三輪ポンプを3台購入し、第2、3、6分団に配置した。(9月1日)
臼杵市消防協会を結成した。(大分県消防協会臼杵支部…県消防協会は昭和初期の頃からあり、既に参加していた。)(10月22日)

- 昭和30年 在日米軍払い下げ改造車（ダッチ消防車）を購入し、本部に配置した。
可搬式動力ポンプ9台を購入し、農漁村部の各部に配置した。
- 昭和31年 臼杵市消防団条例を改正、団員の定員を1,956名とした。（3月23日）
- 昭和32年 初めて15箇分団が臼杵公園に集合して、出初式を挙行した。（2月10日）
昭和25年の合併当初の話し合いに基づき、副団長の定員を3名とした。（4月5日）
- 昭和33年 東中学校少年消防クラブ結成
- 昭和34年 消防ポンプ自動車（いすゞ）を購入し、第1分団に配置した。（1月26日）
第4回大分県消防ポンプ操法大会において、第4分団が自動三輪ポンプの部で優勝した。
第4回九州地区消防操法大会（宮崎市）において、第4分団が県代表として出場し、第2位に入賞した。
- 昭和35年 大分県消防協会長より、優良消防団として表彰される。
隔日2交替（一部日勤）制度を導入。
- 昭和36年 日本消防協会長より、優良消防団として竿頭綬を授与された。（2月11日）
- 昭和37年 臼杵市消防団条例の改正、団員の定員を1,000名とした。（7月10日）
第5回九州地区消防操法大会（長崎市）に、大分県を代表して第6分団が出場、三輪ポンプ操法の部において優勝した。
- 昭和38年 日本消防協会より、優良消防機関として表彰旗を授与された。（2月18日）
風成婦人自警消防隊結成（2月8日）
臼杵市危険物安全協会設立（5月7日）
- 昭和39年 臼杵市消防団条例の改正、団員の定員を795名とした。（3月23日）
日本損害保険協会より、消防ポンプ自動車（ニッサンジュニア）の寄贈を受ける。（11月13日）
- 昭和40年 消防庁長官より、優良消防機関として表彰旗を授与された。（3月3日）
消防相互応援協定締結（野津町）（4月1日）
- 昭和41年 消防相互応援協定締結（津久見市）（2月8日）
消防相互応援協定締結（弥生町）（3月1日）
市民サービスとして救急業務開始（4月1日）
- 昭和43年 日本競輪協会より、広報車（三菱コルト）を寄贈された。（7月22日）
救急業務指定（9月1日）
大分県消防操法大会に臼杵市代表として第14分団が出場し、第2位に入賞した。（9月13日）
風成婦人自警消防隊が、大分県消防操法大会において小型ポンプ操法を披露した。（9月13日）
- 昭和45年 臼杵市消防団条例の改正、団員の定員を600名とした。（3月25日）
- 昭和46年 日本生命保険協会より、救急自動車を寄贈された。（3月21日）
- 昭和48年 消防庁舎起工式（10月6日）
- 昭和49年 消防庁舎完成（鉄筋コンクリート造・2階建て延べ826.0㎡工事費63,818千円）
これにより、本部は唐人町から洲崎へ移転した。（3月25日）

- 昭和50年 日本消防協会より、救急自動車を寄贈された。(9月16日)
日本生命保険協会より、消防ポンプ自動車を寄贈された。(9月16日)
- 昭和51年 消防相互応援協定(非常備)締結(佐賀関町)(3月31日)
大分県常備消防相互応援協定締結(3月31日)
消防相互応援協定(非常備)締結(大分市)(5月1日)
- 昭和55年 林野火災特別地域の指定を受ける。(3月1日)
化学消防ポンプ自動車(日野・A-2級)購入(10月17日)
少年消防クラブ結成(上浦小学校)(11月1日)
臼杵市少年婦人防火委員会設立(11月20日)
- 昭和56年 日本消防協会より、軽可搬を寄贈された。(風成、板知屋婦人防火クラブへ)(3月24日)
日本消防協会より、少年消防クラブへ制服が寄贈された。(8月10日)
消防庁舎裏に消防車庫を増築(10月2日)
救助訓練塔完成(11月13日)
- 昭和57年 大分県防災行政無線設置(3台)(2月17日)
日本損害保険協会より、救急自動車を寄贈された。(2月24日)
幼年消防クラブ結成(6月1日)
日本防火協会より、広報車を寄贈された。(11月9日)
日本防火協会より、上浦小学校少年消防クラブに対し鼓笛隊セット及び制服の寄贈を受けた。(11月15日)
- 昭和58年 日本防火協会より、少年消防クラブに対し制服の寄贈を受けた。(7月10日)
日本防火協会より、幼年消防クラブに対し制服の寄贈を受けた。(10月1日)
大分県地震対策防災訓練が臼杵市で実施された。(10月6日)
- 昭和59年 日本防火協会より、幼年消防クラブに対し鼓笛隊セット4組、ビデオ3組の寄贈を受けた。(2月25日)
日本防火協会より、少年消防クラブに対し制服の寄贈を受けた。(11月8日)
日本防火協会より、少年消防クラブに対し法被の寄贈を受けた。(12月18日)
- 昭和60年 日本防火協会より、幼年消防クラブに対し鼓笛隊セット4組、ビデオ3組の寄贈を受けた。(2月27日)
救助訓練塔(副塔)完成(5月7日)
日本防火協会より、優良消防本部として表彰される。(7月19日)
日本防火協会より、幼年消防クラブに対し法被の寄贈を受けた。(10月31日)
日本防火協会より、救急自動車を寄贈された。(12月10日)
- 昭和61年 日本防火協会より、幼年消防クラブに対し制服の寄贈を受けた。(2月14日)
日本防火協会より、幼年消防クラブに対し鼓笛隊セット1組の寄贈を受けた。(2月21日)
消防救急指令通信システム導入(石油交付金事業)(3月13日)
日本防火協会より、婦人防火クラブ(風成、板知屋)に対し制服の寄贈を受けた。(3月27日)
日本防火協会より、幼年消防クラブに対し法被の寄贈を受けた。(8月22日)
日本損害保険協会より、消防ポンプ自動車を寄贈された。(9月20日)
無線サイレン制御装置設置(10月29日)
- 昭和62年 日本防火協会より、婦人防火クラブ(風成、板知屋)に対し軽可搬の寄贈を受けた。(8月18日)
第1回大分県婦人消防操法大会に板知屋婦人防火クラブが出場した。(8月26日)
- 昭和63年 第2回大分県婦人消防操法大会に風成婦人防火クラブが出場した。(8月26日)
日本防火協会より、幼年消防クラブに対し鼓笛隊セット1組の寄贈を受けた。(9月9日)

- 平成1年 救助工作車 I 型購入（石油交付金事業）（2月20日）
市役所との LANにより財務システム運用開始
- 平成2年 日本消防協会より、救急自動車を寄贈された。（8月20日）
- 平成3年 日本消防協会より、優良少年婦人防火委員会として表彰された。（2月8日）
第4回大分県婦人消防操法大会に泊ケ内婦人消防隊が出場した。（8月28日）
第13回幼年消防全国大会が宮崎市で開催され、大分県より平和園ちびっこ消防隊36名が出演した。
- 平成4年 山口県で開催された母と子の防火全国大会で、平和園ちびっこ消防隊が表彰された。（2月20日）
泊ケ内婦人消防隊が結成された。（4月1日）
県下で別府市に次いで2番目に女性消防団員10名（チェリーブLOSSAM）が誕生した。（4月1日）
大分県消防協会より、泊ケ内婦人消防隊に対し制服10着の寄贈を受けた。（12月21日）
- 平成5年 第17回婦人防火クラブ全国大会に板知屋婦人防火クラブ会長出席（北海道、9月30日）
大阪市で開催された、自治体消防45周年式典（母と子の防火全国大会）で臼杵市少年婦人防火委員会が表彰された。（11月29日）
- 平成7年 石川県で開催された、第19回婦人防火全国大会に風成婦人防火クラブ会長、泊ケ内婦人防火クラブ会長の2名が出席した。（9月30日）
第6回大分県婦人消防操法大会で、泊ケ内婦人消防隊が優勝した。（8月27日）
神奈川県で開催された、第11回全国婦人消防操法大会に大分県代表として泊ケ内婦人消防隊が出場した。（10月4日）
臼杵市消防署に初の救急救命士誕生（11月21日）
- 平成8年 大分県消防長会春季総会が臼杵市で開催された。
大分県消防大会が臼杵市で開催された。（7月13日）
大分県消防署長会議が臼杵市で開催された。（8月8日）
日本防火協会より、すえひろ保育園幼年消防クラブが優良幼年消防クラブとして表彰された。（11月8日）
救急救命士試験に1名合格（11月22日）
- 平成9年 大分県防災ヘリコプター応援協定締結（6月1日）
日本消防協会より、小型動力ポンプ付積載車を寄贈された。（8月29日）
化学消防ポンプ自動車Ⅱ型を更新整備（国庫補助事業）（10月8日）
消防団員等公務災害補償等共済基金より、公務災害防止対策事業として助成金を交付された。（10月16日）
救急救命士試験に1名合格（11月18日）
初の高規格救急自動車を購入（電源立地交付金）（11月26日）
- 平成10年 団員定数見直し条例定数600名から565名となる。（10月1日）
- 平成11年 団員定数見直し565名から514名となる。
救急救命士試験に1名合格（4人目）
- 平成12年 救急業務高度化資機材整備事業により高規格救急自動車・高度救命処置用資機材を購入整備（平成11年度国庫補助補正事業）（7月19日）
団員定数見直し514名から500名となる。
救急救命士試験に2名合格

- 平成13年 通信指令施設コンピューター化に伴い通信指令係を新設、専任体制とした。(4月1日)
 救助資機材等総合整備事業により救助工作車Ⅱ型・救助資機材を更新整備(平成12年度国庫補助補正事業)(9月17日)
 消防緊急通信指令施設Ⅰ型更新整備(平成12年度国庫補助補正事業)(10月17日)
 救急救命士試験に1名合格
 東九州自動車道開通(12月27日)
 臼杵市防災システム(防災行政無線通信システム=地震・津波情報サービス)を沿岸部主体に運用開始(平成12年度国庫補助補正事業)
- 平成14年 救急救命士試験に1名合格
 緊急文字放送システム(CATVによる火災等の情報提供)運用開始
- 平成15年 大分県防災航空隊に職員1名派遣~平成17年3月31日まで(4月1日)
 課制(総務課、警防課)導入同時に係制を廃止、グループ制となる。(4月1日)
 文書ファイリングシステム導入(フォルダ方式で文書保管)
 臼杵市危険物安全協会創立40周年記念式典(寿ホール)(5月16日)
 救急業務高度化資機材整備事業により、高規格救急自動車・高度救命処置用資機材を購入整備、これにより高規格救急自動車が3台となる。(平成14年度国庫補助補正事業)(7月23日)
 救急救命士試験に1名合格
- 平成16年 職員定数条例改正65名(実員50名)
 救急救命士の自動体外式除細動器(AED)使用実施…臼杵庁舎・野津庁舎に各1基配備
 コンプレッサー(29.4Mpa/19.6Mpa対応)購入
- 平成17年 市町村合併で旧野津町と合併



(2) 旧野津町消防の沿革

明治23年	町村制の施行後の翌年、消防団の前身である消防組が発足
明治27年	勅令により消防規則が公布（2月9日）
明治32年	大分県消防規則施行細則（県令13号）が制定される 警察の指揮下に編入
昭和14年	警防団と名称変更
昭和23年	警察制度の一部門から分離独立（消防組織法第226号） 市町村独自の自治消防団として再発足 旧町村の消防団が合体し野津消防団として発足 本部を町役場に設置（分団数23分団、団員数694名、可搬ポンプ25台、手引きポンプ1台）
昭和34年	野津町を中心に上下水道整備に伴い、消火栓設備を設置
昭和40年	消防ポンプ自動車購入 分団数5分団（17部）、団員数464名に編成変更 土橋地区に防火水槽を設置
昭和45年	野津町、三重町、清川村、千歳村、犬飼町の5町で大野郡東部消防組合が発足
昭和46年	発足後1年間の準備後の4月業務開始
昭和50年	小型動力ポンプの更新とともに小型動力ポンプ付積載車を配備
昭和54年	各消防団選抜でラッパ隊発足（各分団から3名、計15名）
平成10年	大分県消防協会から優良消防団表彰で纏受領
平成17年	市町村合併で旧臼杵市と合併



令和3年版

臼杵市消防本部 消防年報

《令和4年10月刊行》

〒875-0061 大分県臼杵市大字前田1851番4
TEL 0972-62-2303・FAX 0972-63-3650
